

県出資法人等の経営状況報告概要書
県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

令和6年9月
大 分 県

本概要書は、今議会提出の議案書の参考資料として「県出資法人等の経営状況報告」及び「県有地の信託に係る事務の処理状況報告」の概要をとりまとめたものです。

○県出資法人等の経営状況報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、同法第221条第3項に定める法人について、毎事業年度、その経営状況を説明する書類を作成して、議会に提出することになっています。

地方自治法第243条の3第2項による経営状況報告法人

- 1 県が設立した地方住宅供給公社、土地開発公社及び地方独立行政法人（4法人）
- 2 県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの4分の1以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社（19法人）

今議会では、23法人が対象法人に該当し、その経営状況について報告議案として議会に提出します。加えて、当県独自の取組として、平成21年9月に策定した「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」により、指針で定める「指定団体」及び「その他の出資等団体」についてはその経営状況等を各常任委員会で報告し、県庁ホームページ等で公表してきたところです。

なお、「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」の対象となる法人は以下のとおりです。

「大分県公社等外郭団体に関する指導指針」対象法人（42法人）

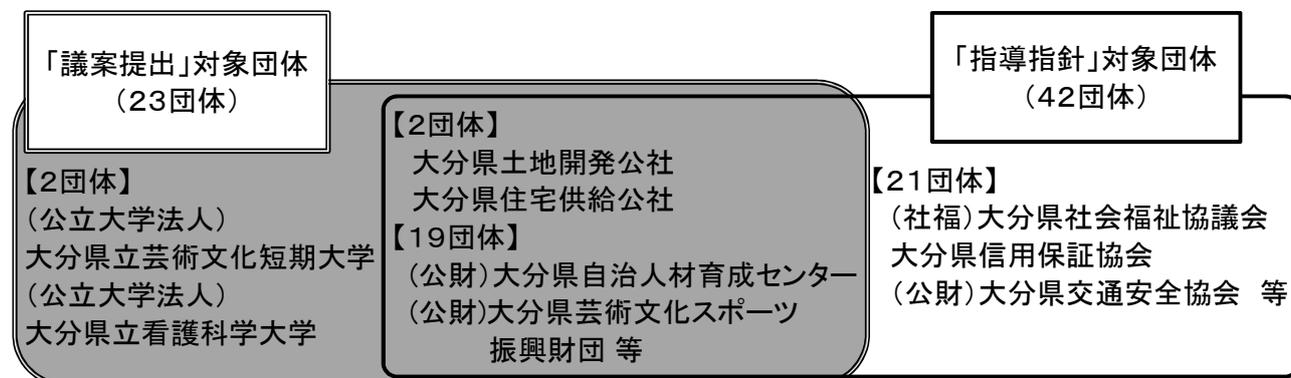
1 「指定団体」（28法人）

- 県の事務と密接な関係を有する事業を行っている団体で、次のいずれかに該当するもの。
- (1) 基本財産、資本金等に県が出資又は出えんを行っており、その比率が25%以上の団体。ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。
 - (2) 県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体
 - (3) 県職員を業務援助のため継続的に派遣している団体
 - (4) その他特に指導監督する必要がある団体
- ※ 28法人のうち21法人は地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき議会報告

2 「その他の出資等団体」（14法人）

県からの出資等の比率が25%未満の団体（上記1の（2）から（4）までに掲げるものを除く。）をいう。ただし、地方独立行政法人及び専ら国等が指導を行う団体を除く。

報告議案の法人と「指導指針」対象法人の関係は、下図のとおりです。



○県有地の信託に係る事務の処理状況報告について

地方自治法第243条の3第3項の規定に基づき、同法第221条第3項の信託について、信託契約に定める計算期ごとに、当該信託に係る事務の処理状況を説明する書類を作成し議会に提出することになっています。

目 次

I 県出資法人等の経営状況報告概要書

「指定団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(公財)大分県自治人材育成センター	総務部	6
2	(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	企画振興部	7
3	大分高速鉄道保有(株)	企画振興部	8
4	大分航空ターミナル(株)	企画振興部	9
5	(社福)大分県社会福祉協議会	福祉保健部	10
6	(公財)大分県地域保健支援センター	福祉保健部	11
7	(公財)大分県臓器移植医療協会	福祉保健部	12
8	(公財)大分県生活衛生営業指導センター	生活環境部	13
9	(公財)大分県産業創造機構	商工観光労働部	14
10	(公財)ハイパーネットワーク社会研究所	商工観光労働部	15
11	(公財)日田玖珠地域産業振興センター	商工観光労働部	16
12	大分ブランドクリエイト(株)	商工観光労働部	17
13	(公財)大分県総合雇用推進協会	商工観光労働部	18
14	(公社)ツーリズムおおいた	商工観光労働部	19
15	(公社)大分県農業農村振興公社	農林水産部	20
16	(一財)大分県主要農作物改善協会	農林水産部	21
17	(一社)大分県農業会議	農林水産部	22
18	(公社)大分県畜産協会	農林水産部	23
19	(公財)森林ネットおおいた	農林水産部	24
20	(公社)大分県漁業公社	農林水産部	25
21	(公財)大分県建設技術センター	土木建築部	26
22	大分県土地開発公社	土木建築部	27
23	(株)大分国際貿易センター	土木建築部	28
24	大分県住宅供給公社	土木建築部	29
25	(公財)大分県奨学会	教育庁	30
26	(公財)大分県スポーツ協会	教育庁	31
27	(公財)大分県暴力追放運動推進センター	警察本部	32
28	(公財)大分県交通安全協会	警察本部	33

「その他の出資等団体」

No.	団体名	(所管部局)	ページ
1	(株)大分フットボールクラブ	企画振興部	34
2	(株)別府交通センター	企画振興部	35
3	(一財)大分県自動車会議所	企画振興部	36
4	(公財)大分県アイバンク協会	福祉保健部	37
5	(公財)大分県環境管理協会	生活環境部	38
6	大分県信用保証協会	商工観光労働部	39
7	(株)大分放送	商工観光労働部	40
8	大分朝日放送(株)	商工観光労働部	41
9	(株)エフエム大分	商工観光労働部	42
10	大分県デジタルネットワークセンター(株)	商工観光労働部	43
11	大分県農業信用基金協会	農林水産部	44
12	(公社)大分県園芸振興基金協会	農林水産部	45
13	(株)大分県畜産公社	農林水産部	46
14	(公財)大分県防犯協会	警察本部	47

II 地方独立行政法人（公立大学法人）の経営状況報告概要書

1	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学	総務部	49
2	公立大学法人大分県立看護科学大学	総務部	52

III 県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

1	県有地の信託	商工観光労働部	56
---	--------	---------	----

(注意)
損益計算書（正味財産増減計算書）及び貸借対照表等の合計については、
四捨五入のため一致しない場合があります。

I 県出資法人等の 経営状況報告概要書

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体01

(課・室名) 人 事 課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県自治人材育成センター 会長 中野 五郎																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,000千円 50.0% 6,000千円																																																		
3	事業内容	1 県内自治体職員に対する研修の実施 2 県内自治体が実施する研修に対する支援 3 研修に関する調査研究 4 地域の人材育成の取組に対する支援 5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業																																																		
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>148,457</td> <td>資産</td> <td>538,716</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>148,373</td> <td>流動資産</td> <td>7,796</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>84</td> <td>固定資産</td> <td>530,920</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>7,796</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>7,796</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>84</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>530,920</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲33,352</td> <td>指定正味財産</td> <td>530,920</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>530,920</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲33,352</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※当期正味財産増減額▲33,352千円は、建物建設時に一括計上した県負担金及び市町村補助金収入の一部の取り崩し(減価償却費に充当)等によるもの</p>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	148,457	資産	538,716	経常費用	148,373	流動資産	7,796	当期経常増減額	84	固定資産	530,920	経常外収益	0	負債	7,796	経常外費用	0	流動負債	7,796	当期経常外増減額	0	固定負債	0	法人税等	84	正味財産(純資産)	530,920	当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0	当期指定正味財産増減額	▲33,352	指定正味財産	530,920	正味財産期末残高	530,920			当期正味財産増減額	▲33,352		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																		
経常収益	148,457	資産	538,716																																																	
経常費用	148,373	流動資産	7,796																																																	
当期経常増減額	84	固定資産	530,920																																																	
経常外収益	0	負債	7,796																																																	
経常外費用	0	流動負債	7,796																																																	
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																																	
法人税等	84	正味財産(純資産)	530,920																																																	
当期一般正味財産増減額	0	一般正味財産	0																																																	
当期指定正味財産増減額	▲33,352	指定正味財産	530,920																																																	
正味財産期末残高	530,920																																																			
当期正味財産増減額	▲33,352																																																			
5	問題点及び懸案事項	研修内容の充実や県・市町村職員同士のネットワークづくりを促進するとともに、効率的な組織運営を図っていく必要がある。																																																		
6	対策及び処理状況	1 オンライン方式の活用など受講生が参加しやすい環境整備に努めるとともに、合同研修の内容充実により、県と市町村職員のネットワークづくりを促進する。 2 フォローアップ調査により、研修の効果測定を行った上で、研修内容の改善を図る。 3 市町村研修担当課との緊密な連携を図り、研修効果が最大限発揮される効率的な組織となるよう継続的に見直しを行っていく。																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体 02

(課・室名) 芸術文化振興課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長 広瀬 勝貞																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	513,998千円 100.0% 513,998千円																																														
3	事業内容	1 i i c h i k o 総合文化センター（大分県立総合文化センター）及び大分県立美術館を拠点とした芸術文化振興事業 2 県民と外国人の相互理解と友好親善を図るための国際交流事業 3 県民のスポーツ意識の向上と多様な交流の場の創出を目的としたスポーツの振興に関する事業 4 地域活性化を図るための事業 5 公益目的事業以外の施設提供事業及び駐車場運営事業 等																																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>930,369</td> <td>資産</td> <td>959,429</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>929,579</td> <td>流動資産</td> <td>187,660</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>790</td> <td>固定資産</td> <td>771,769</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>215,091</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>189,467</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>25,624</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>790</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>744,338</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>1,793</td> <td>一般正味財産</td> <td>118,148</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>744,338</td> <td>指定正味財産</td> <td>626,190</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>2,583</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	930,369	資産	959,429	経常費用	929,579	流動資産	187,660	当期経常増減額	790	固定資産	771,769	経常外収益	0	負債	215,091	経常外費用	0	流動負債	189,467	当期経常外増減額	0	固定負債	25,624	当期一般正味財産増減額	790	正味財産（純資産）	744,338	当期指定正味財産増減額	1,793	一般正味財産	118,148	正味財産期末残高	744,338	指定正味財産	626,190	当期正味財産増減額	2,583		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
経常収益	930,369	資産	959,429																																													
経常費用	929,579	流動資産	187,660																																													
当期経常増減額	790	固定資産	771,769																																													
経常外収益	0	負債	215,091																																													
経常外費用	0	流動負債	189,467																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	25,624																																													
当期一般正味財産増減額	790	正味財産（純資産）	744,338																																													
当期指定正味財産増減額	1,793	一般正味財産	118,148																																													
正味財産期末残高	744,338	指定正味財産	626,190																																													
当期正味財産増減額	2,583																																															
5	問題点及び懸案事項	1 県立総合文化センター及び県立美術館において、県民の幅広いニーズに応えられる多様で質の高い芸術文化事業の展開と健全な財政運営の両立が求められている。 2 「出会いと融合」「ネットワーク」をベースとした大分県の芸術文化の創造と発信を今後も継続して行う必要がある。 3 芸術文化を活用して、教育、福祉などの様々な団体等と連携することにより、引き続き社会的課題や経済的課題へ対応していく必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 県立総合文化センターのホール利用が休止する中、アウトリーチ活動に力を入れ、小中学校等にアーティストを派遣し芸術文化に触れる機会を提供した。美術館では「朝倉文夫展」、「テルマエ展」等、多様なジャンルの企画展の開催に努めた。事業実施にあたっては、当期正味財産期末残高は2,583千円の増加となり、収支均衡に近い形となった。 2 両施設の連携を強化するため、美術館でジュニアオーケストラコンサートやセンター登録アーティストによる演奏会を実施した。 3 障がい者芸術文化活動の普及促進として、「おおいた障がい者芸術文化支援センター」の運営を県から受託し、美術館で障がい者芸術支援センター企画展 vol.5 を開催した。 今後も健全な財政運営を基本として、多彩な芸術文化事業を展開し、本県芸術文化の発信拠点としての魅力向上に努める。																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体03

(課・室名) 地域交通・物流対策室

項	目	概	要	等																																																								
1	法人名及び代表者名	大分高速鉄道保有株式会社 代表取締役 尾野 賢治 (副知事)																																																										
2	県出資金	196,000千円																																																										
	出資比率	82.5%																																																										
	資本金等の総額	237,500千円																																																										
3	事業内容	<p>日豊本線高速化事業</p> <p>1 平成13年度～15年度</p> <p>①事業区間 日豊本線 大分駅～佐伯駅 (64.9km)</p> <p>②事業内容 最高速度85km/h→110km/hに必要な工事を行った。(枕木のコンクリート化、曲線改良等)</p> <p>③事業効果 60分→52分 (8分間短縮)</p> <p>④事業費 約23億円</p> <p>2 平成16年度～</p> <p>16年3月に竣工した鉄道施設の管理及び九州旅客鉄道株式会社への貸付け</p> <p>※令和10年度に九州旅客鉄道株式会社が施設を買い上げたうえで出資金を県、九州旅客鉄道株式会社に返還し、清算する予定</p>																																																										
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書 (千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>57,950</td> <td>資産</td> <td>189,781</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>0</td> <td>流動資産</td> <td>10,590</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>57,950</td> <td>固定資産</td> <td>179,191</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>40,738</td> <td>負債</td> <td>77,901</td> </tr> <tr> <td>(うち固定資産税</td> <td>4,238)</td> <td>流動負債</td> <td>45,901</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>17,212</td> <td>固定負債</td> <td>32,000</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>0</td> <td>純資産</td> <td>111,880</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>397</td> <td>資本金</td> <td>237,500</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>16,815</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>1</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲125,620</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>16,814</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>5,150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>11,664</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		売上高	57,950	資産	189,781	売上原価	0	流動資産	10,590	売上総利益	57,950	固定資産	179,191	販売費及び一般管理費	40,738	負債	77,901	(うち固定資産税	4,238)	流動負債	45,901	営業利益	17,212	固定負債	32,000	営業外収益	0	純資産	111,880	営業外費用	397	資本金	237,500	経常利益	16,815	資本剰余金	0	特別損失	1	利益剰余金	▲125,620	税引前当期純利益	16,814			法人税、住民税及び事業税	5,150			当期純利益	11,664		
○損益計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																																										
売上高	57,950	資産	189,781																																																									
売上原価	0	流動資産	10,590																																																									
売上総利益	57,950	固定資産	179,191																																																									
販売費及び一般管理費	40,738	負債	77,901																																																									
(うち固定資産税	4,238)	流動負債	45,901																																																									
営業利益	17,212	固定負債	32,000																																																									
営業外収益	0	純資産	111,880																																																									
営業外費用	397	資本金	237,500																																																									
経常利益	16,815	資本剰余金	0																																																									
特別損失	1	利益剰余金	▲125,620																																																									
税引前当期純利益	16,814																																																											
法人税、住民税及び事業税	5,150																																																											
当期純利益	11,664																																																											
5	問題点及び懸案事項	平成19年の所得税法改正による減価償却期間の延長、平成28年のJR九州株式上場に伴う固定資産税減免措置の終了、平成29年の台風18号により被災した一部所有資産の除却処分等により、清算に向けた収支状況の見直しが必要となっている。																																																										
6	対策及び処理状況	清算に向けた収支状況を改善するため、組織体制を見直し、取締役管理部長の職の廃止等により管理費を縮減することとし、令和6年6月末の株主総会において定款の一部変更を行った。今後は引き続き安定経営に努める。																																																										

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体04

(課・室名) 交通政策企画課

項	目	概	要	等	
1	法人名及び代表者名	大分航空ターミナル株式会社 代表取締役社長 高橋 強			
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	142,500千円 28.8% 495,000千円			
3	事業内容	大分空港の旅客・貨物ターミナルビルを利用する航空会社や旅客等に対する施設、設備、サービスの提供及び旅行手配			
4	5年度決算状況	○損益計算書(千円)	○貸借対照表(千円)		
		売上高	3,955,281	資産	4,842,411
		売上原価	1,951,937	流動資産	1,647,394
		売上総利益	2,003,344	固定資産	3,195,017
		販売費及び一般管理費	1,601,941	負債	1,579,096
		営業利益	401,403	流動負債	766,423
		営業外収益	74,162	固定負債	812,673
		営業外費用	101,300	純資産	3,263,315
		経常利益	374,265	資本金	495,000
		税引前当期純利益	312,403	資本剰余金	0
		法人税、住民税及び事業税	105,000	利益剰余金	2,768,315
		当期純利益	207,403		
5	問題点及び懸案事項	<p>1 国内線乗降客数は、堅調に回復し、国際線も運航を再開したことから業績が回復した。一方、地上スタッフをはじめとする人員不足が顕著な課題となった。このため、合同就職説明会の開催や初任給及び若年層を中心とした給与水準の見直しを行い、人材確保・処遇の改善を図った。人員については、未だ十分な状態に至っておらず、人材の確保・定着については、引き続き重要な課題として、継続的、重点的に取り組んでいく。</p> <p>2 収支については、2期連続で営業利益の黒字を確保、当期純利益は、2億740万円で前期比128%となった。</p>			
6	対策及び処理状況	<p>1 2024年度は新たな中期経営計画を迎え、継続的成長と持続可能な社会の実現を目指す、「人にやさしい空港づくり」「地域と共存し環境にやさしい経営の推進」「社員が成長し選ばれる職場環境の整備」「事業の持続的発展に向けた財務基盤の強化」の四つの基本戦略を定め、「サステナブル経営」を推進する計画を策定した。</p> <p>2 財務面では、吸収合併により新設した旅行事業部門の立て直しと併せて、今後予定される大型設備投資に備え、資金計画並びに確実な利益確保に向け、収益の最大化とコストの最小化への取り組みを行っていく。</p>			

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体05

(課・室名) 福祉保健企画課

項	目	概	要	等																																																		
1	法人名及び代表者名	社会福祉法人大分県社会福祉協議会 会長 佐藤 章																																																				
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 15,000千円(特に指導監督する必要がある団体)																																																				
3	事業内容	1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施 2 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助 3 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 4 社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修 5 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言 6 市町村社会福祉協議会の相互の連絡及び事業の調整等																																																				
4	5年度決算状況	一般会計(法人全体) ○事業活動計算書(千円) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>収益</td> <td>1,882,595</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td>資産</td> <td>17,942,947</td> </tr> <tr> <td> サービス活動</td> <td>1,216,152</td> <td></td> <td>流動資産</td> <td>1,091,696</td> </tr> <tr> <td> サービス活動外</td> <td>666,443</td> <td></td> <td>固定資産</td> <td>16,851,251</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>1,621,907</td> <td></td> <td>負債</td> <td>14,770,719</td> </tr> <tr> <td> サービス活動</td> <td>968,045</td> <td></td> <td>流動負債</td> <td>95,617</td> </tr> <tr> <td> サービス活動外</td> <td>653,862</td> <td></td> <td>固定負債</td> <td>14,675,102</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減差額</td> <td>260,689</td> <td></td> <td>純資産</td> <td>3,172,228</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td> うち基本金</td> <td>15,544</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td> うち基金</td> <td>452,865</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td> うち積立金</td> <td>2,438,014</td> </tr> </table> ※生活福祉資金貸付事業は、特別会計で経理処理しているため、含めていない。			収益	1,882,595	○貸借対照表(千円)	資産	17,942,947	サービス活動	1,216,152		流動資産	1,091,696	サービス活動外	666,443		固定資産	16,851,251	費用	1,621,907		負債	14,770,719	サービス活動	968,045		流動負債	95,617	サービス活動外	653,862		固定負債	14,675,102	当期経常増減差額	260,689		純資産	3,172,228				うち基本金	15,544				うち基金	452,865				うち積立金	2,438,014
収益	1,882,595	○貸借対照表(千円)	資産	17,942,947																																																		
サービス活動	1,216,152		流動資産	1,091,696																																																		
サービス活動外	666,443		固定資産	16,851,251																																																		
費用	1,621,907		負債	14,770,719																																																		
サービス活動	968,045		流動負債	95,617																																																		
サービス活動外	653,862		固定負債	14,675,102																																																		
当期経常増減差額	260,689		純資産	3,172,228																																																		
			うち基本金	15,544																																																		
			うち基金	452,865																																																		
			うち積立金	2,438,014																																																		
5	問題点及び懸案事項	1 「経営基盤強化・発展計画2022」に基づき、ガバナンスや法人組織の強化、コスト縮減等の財政基盤強化に取り組み、当期経常増減差額は黒字となったが、今後、総合社会福祉会館の老朽化に伴う施設改修などが見込まれることから、引き続き財政基盤の強化に取り組む必要がある。 2 地域共生社会の実現に向けて、地域福祉を推進する人材の育成・確保等とともに、組織体制の充実に努める必要がある。																																																				
6	対策及び処理状況	1 事務の効率化、コスト削減といった経営意識を職員一人ひとりが持てるよう、職員の意識改革に努めるとともに、DXの推進などにより働き方改革にも取り組む。 2 令和5年度は、研修機材の更新を行い、研修環境の充実に努めた。引き続き、各階層別研修に加えITや災害、マネジメント、広報など専門的な研修を実施するとともに、優秀な人材の確保に向けて、中堅・若手職員等の計画的な採用に取り組む。																																																				

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体06

(課・室名) 健康増進室

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県地域保健支援センター 理事長 河野 幸治																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 25.0% 20,000千円																																														
3	事業内容	1 保健医療に関する知識の普及及び啓発 2 保健医療に関する調査研究及び技術の研修 3 結核、がん、循環器疾患及びその他の疾病予防の検診 4 市町村が実施する健康増進事業に対する支援 5 県・市町村その他関係団体への協力 6 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会の支部としての事業																																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>638,044</td> <td>資産</td> <td>826,447</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>612,563</td> <td>流動資産</td> <td>299,211</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>25,481</td> <td>固定資産</td> <td>527,236</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>256,305</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>73,364</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>182,941</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>25,481</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>570,143</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲6,300</td> <td>一般正味財産</td> <td>378,168</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>570,143</td> <td>指定正味財産</td> <td>191,975</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>19,181</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)			経常収益	638,044	資産	826,447	経常費用	612,563	流動資産	299,211	当期経常増減額	25,481	固定資産	527,236	経常外収益	0	負債	256,305	経常外費用	0	流動負債	73,364	当期経常外増減額	0	固定負債	182,941	当期一般正味財産増減額	25,481	正味財産(純資産)	570,143	当期指定正味財産増減額	▲6,300	一般正味財産	378,168	正味財産期末残高	570,143	指定正味財産	191,975	当期正味財産増減額	19,181		
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																																															
経常収益	638,044	資産	826,447																																													
経常費用	612,563	流動資産	299,211																																													
当期経常増減額	25,481	固定資産	527,236																																													
経常外収益	0	負債	256,305																																													
経常外費用	0	流動負債	73,364																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	182,941																																													
当期一般正味財産増減額	25,481	正味財産(純資産)	570,143																																													
当期指定正味財産増減額	▲6,300	一般正味財産	378,168																																													
正味財産期末残高	570,143	指定正味財産	191,975																																													
当期正味財産増減額	19,181																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>センターの主要事業である検診事業において、クリニックでの職域検診受診者は増加傾向である一方、各市町村での住民検診では感染リスクを避けるために、公民館などの小規模会場を統合し、大規模会場で検診を行う体制をとっていることから、検診受診機会が減少している。また、少子高齢化による人口減少の影響等により、受診者数の回復が見通せない状況である。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>人口減少やコロナ禍での検診体制を継続していることにより、受診者数が減少していく中で、市町村との連携を強化し、検診未受診層への受診勧奨を行うとともに、レディース検診日の拡充や休日開所等の利便性向上の取り組みをすることで、引き続き受診者の確保に努める。</p>																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体07

(課・室名) 健康政策・感染症対策課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県臓器移植医療協会 理事長 三股 浩光		
2	県出資金	20,000千円		
	出資比率	30.1%		
	資本金等の総額	66,500千円		
3	事業内容	1 県民への移植医療に関する普及啓発事業を行うこと。 2 腎臓提供者と腎臓移植希望者との調整協力事業を行うこと。 3 医療機関の体制支援及び教育事業を行うこと。 4 腎臓移植希望者への情報提供及び腎臓移植登録支援事業を行うこと。 5 移植医療の学術に関する事業を行うこと。 6 臓器移植コーディネーターの設置及び臓器の移植に関する法律に定める臓器の移植医療推進のための協力支援を行うこと。 7 その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。		
4	5年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)
		経常収益 5,881 経常費用 5,752 当期経常増減額 129 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期正味財産増減額 129	資産 70,954 流動資産 4,304 固定資産 66,650 負債 209 流動負債 209 固定負債 0 正味財産(純資産) 70,745	
		主な収入 大分県補助金 3,244千円 寄附金(支援型自動販売機等) 1,340千円 賛助会費 892千円 主な支出 移植コーディネーター活動費 3,717千円		
5	問題点及び懸案事項	1 県内の臓器提供実績が平成30年以降途絶えていたが、令和6年度に心停止下で1件、脳死下で1件の提供があった。引き続き提供病院の院内体制の整備、県民に向けての臓器移植に対する理解の促進、意思表示の普及・啓発活動の強化が課題である。 2 収入源の6割弱を県補助金に依存する中で、経営体質の強化のため、自主財源の確保と拡大を図る必要がある。		
6	対策及び処理状況	1 令和6年度は、県事業により大分大学医学部に専任医師を配置し、提供病院に対する「選択肢提示」の指導や相談対応等、提供病院の連携体制を強化するとともに、引き続き、院内移植コーディネーターの養成を図る。また、SNS等を積極的に活用し、臓器提供の意思表示の推進、臓器移植に対する県民の理解を深める。 2 支援型自動販売機や募金箱の設置活動を継続し、自主財源の確保に努める。 ※自動販売機は大分大学医学部附属病院等10施設に14台設置。 (R4:14台、698千円 → R5:14台、734千円) ※募金箱は35医療機関に設置。(R4:343千円 → R5:323千円)		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体08

(課・室名) 食品・生活衛生課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県生活衛生営業指導センター 理事長 井上 富義																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 40.0% 5,000千円																																																						
3	事業内容	<p>「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」第57条の3に基づき、昭和58年3月に設立した知事指定団体</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活衛生関係営業に対する相談、指導 2 情報化整備事業 3 後継者育成支援事業 4 経営指導のための調査事業 5 標準営業約款事業 6 クリーニング師研修等事業 																																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>20,655</td> <td>資産</td> <td>14,771</td> </tr> <tr> <td>（うち受取補助金）</td> <td>(17,752)</td> <td>流動資産</td> <td>2,984</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>20,556</td> <td>固定資産</td> <td>11,787</td> </tr> <tr> <td>（うち事業費）</td> <td>(20,133)</td> <td>負債</td> <td>2,529</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>98</td> <td>流動負債</td> <td>1,579</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>12,242</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>7,242</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>98</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>12,242</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>98</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		経常収益	20,655	資産	14,771	（うち受取補助金）	(17,752)	流動資産	2,984	経常費用	20,556	固定資産	11,787	（うち事業費）	(20,133)	負債	2,529	当期経常増減額	98	流動負債	1,579	経常外収益	0	固定負債	950	経常外費用	0	正味財産（純資産）	12,242	当期経常外増減額	0	一般正味財産	7,242	当期一般正味財産増減額	98	指定正味財産	5,000	当期指定正味財産増減額	0			正味財産期末残高	12,242			当期正味財産増減額	98		
○正味財産増減計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																						
経常収益	20,655	資産	14,771																																																					
（うち受取補助金）	(17,752)	流動資産	2,984																																																					
経常費用	20,556	固定資産	11,787																																																					
（うち事業費）	(20,133)	負債	2,529																																																					
当期経常増減額	98	流動負債	1,579																																																					
経常外収益	0	固定負債	950																																																					
経常外費用	0	正味財産（純資産）	12,242																																																					
当期経常外増減額	0	一般正味財産	7,242																																																					
当期一般正味財産増減額	98	指定正味財産	5,000																																																					
当期指定正味財産増減額	0																																																							
正味財産期末残高	12,242																																																							
当期正味財産増減額	98																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>原材料やエネルギーの価格高騰等による影響を受けている業界の事業者は、未だ事業継続や資金繰りが厳しい状況であり、継続的な支援が求められる。</p> <p>事業者に対する効率的な指導、情報発信を行うために必要な組合加入率は依然として低水準であり、組合加入の促進が必要である。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>弁護士、税理士、社会保険労務士等により構成されるサポートチームと連携しながら、融資や各種補助金活用のための相談指導などの事業者支援を積極的に行うとともに、組合とも連携しながら、支援ニーズの把握や事業者への必要な情報提供などを行っている。</p> <p>また、組合加入のメリット等を記載したパンフレットを作成し、新規開業者や講習会参加者へ配布するとともに、事業者に対する丁寧な相談指導を行い、組合への加入促進を図っている。</p>																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体09

(課・室名) 工業振興課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県産業創造機構 理事長 吉村 恭彰																								
2	県出資金	206,000千円																								
	出資比率	23.4%																								
	資本金等の総額	881,520千円																								
3	事業内容	1 経営課題に対する総合相談及び指導 2 取引の振興及び販路拡大の支援 3 新事業・新技術の創出支援 4 人材育成支援 5 産業、経済等に関する調査研究及び情報提供																								
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 509,759</td> <td>資産 7,301,568</td> </tr> <tr> <td>経常費用 497,707</td> <td>流動資産 243,870</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 12,051</td> <td>固定資産 7,057,698</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 685</td> <td>負債 6,034,192</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 141,101</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 685</td> <td>固定負債 5,893,091</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 12,736</td> <td>正味財産(純資産) 1,267,377</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 ▲17,471</td> <td>一般正味財産 361,098</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 1,267,377</td> <td>指定正味財産 906,278</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲4,735</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	経常収益 509,759	資産 7,301,568	経常費用 497,707	流動資産 243,870	当期経常増減額 12,051	固定資産 7,057,698	経常外収益 685	負債 6,034,192	経常外費用 0	流動負債 141,101	当期経常外増減額 685	固定負債 5,893,091	当期一般正味財産増減額 12,736	正味財産(純資産) 1,267,377	当期指定正味財産増減額 ▲17,471	一般正味財産 361,098	正味財産期末残高 1,267,377	指定正味財産 906,278	当期正味財産増減額 ▲4,735	
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																									
経常収益 509,759	資産 7,301,568																									
経常費用 497,707	流動資産 243,870																									
当期経常増減額 12,051	固定資産 7,057,698																									
経常外収益 685	負債 6,034,192																									
経常外費用 0	流動負債 141,101																									
当期経常外増減額 685	固定負債 5,893,091																									
当期一般正味財産増減額 12,736	正味財産(純資産) 1,267,377																									
当期指定正味財産増減額 ▲17,471	一般正味財産 361,098																									
正味財産期末残高 1,267,377	指定正味財産 906,278																									
当期正味財産増減額 ▲4,735																										
5	問題点及び懸案事項	1 地域を取り巻く環境が変化中、県内中小企業の新たな活力創造と競争力強化を推進する「中核的支援機関」としての役割を効果的に発揮するため、機構が果たすべき機能の常なる検証と、持続性のある経営基盤の安定化を図ることが重要。 2 低金利で基金運用収入の増加が見込めない中、外部資金等の収入確保に努める必要がある。また、支援機関としての機能の確保と質の向上を図るため、優秀な職員の確保と育成に努める必要がある。																								
6	対策及び処理状況	1 「DXの推進」を共通の柱とした第四期中期経営計画(R5~7)に取り組んだ結果、令和5年度は、計画に定める活動・成果指標の達成状況について、38指標中37指標が数値目標を達成あるいは概ね達成しており、計画の着実な推進を図ることができた。 令和6年度は、引き続き5つの事業戦略(先端技術産業の創出、新事業活動支援、経営力の安定・強化、分野別集中支援、多様な人材の育成・活躍推進)に取り組むとともに、商工団体等の支援機関や金融機関との連携を密に、多様化・複雑化する経営課題の解決を支援する。 2 経営基盤の安定化に向け、会員の増や国の委託事業等外部資金の獲得など、収支均衡に向けた取り組みを強化する。																								

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体10

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	150,000千円 35.0% 429,000千円		
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> ハイパーネットワーク社会に関する調査・研究及び実証実験 ハイパーネットワーク社会に関する研究発表会等の開催 ハイパーネットワーク社会に関する情報の収集及び提供 ハイパーネットワーク社会に関する市民や組織を対象にした情報化の普及啓発及びコンサルティング ハイパーネットワーク社会構築推進のための企画及び運営 ハイパーネットワーク社会に関する内外関係機関等との交流及び協力 		
4	5年度決算状況	○正味財産増減計算書 (千円) 経常収益 245,768 経常費用 240,451 当期経常増減額 5,317 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 法人税等 232 当期一般正味財産増減額 5,085 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 428,144 当期正味財産増減額 5,085	○貸借対照表 (千円) 資産 509,935 流動資産 107,084 固定資産 402,851 負債 81,791 流動負債 81,791 固定負債 0 正味財産(純資産) 428,144 一般正味財産 29,144 指定正味財産 399,000	
5	問題点及び懸案事項	<p>令和5年度決算は、当研究所の強みを生かした新規事業や、国の継続事業の受託により、2期連続の黒字となった。また、AI等の先端技術を活用した企業の課題解決や学校のICT教育支援などの事業を前年度に引き続き受託することができた。</p> <p>今後も新規事業の受託や経費の節減等により、収入の多角化及び安定した経営基盤の確立を図る必要がある。</p>		
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 既存事業の継続確保や新規事業の獲得に加え、企業訪問等により賛助会員企業の拡大に努めるなど、経営基盤の一層の強化を図る。 今後も定期的なモニタリングを継続的に行い、中期経営計画に沿って、経営基盤強化に向けた取組を明確化する。 		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体11

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人日田玖珠地域産業振興センター 理事長 椋野 美智子																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,600千円 32.0% 5,000千円																																														
3	事業内容	1 日田玖珠地域の地場産業に対する支援及び地場産品、日田家具の販促活動に関する事業の実施 2 日田玖珠地域産業振興センターにおける地場産品の展示販売 3 Yahoo!ショッピングの「HITA SHOP」による地場産品のインターネット販売 4 ふるさと納税返礼品の発送等業務 5 日田玖珠地域産業振興センター内の会議室等貸出し																																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>49,224</td> <td>資産</td> <td>461,524</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>58,873</td> <td>流動資産</td> <td>42,849</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲9,469</td> <td>固定資産</td> <td>418,674</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>825</td> <td>負債</td> <td>11,502</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>1,318</td> <td>流動負債</td> <td>8,754</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>▲493</td> <td>固定負債</td> <td>2,748</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲10,142</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>450,021</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>445,021</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>450,021</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲10,142</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	49,224	資産	461,524	経常費用	58,873	流動資産	42,849	当期経常増減額	▲9,469	固定資産	418,674	経常外収益	825	負債	11,502	経常外費用	1,318	流動負債	8,754	当期経常外増減額	▲493	固定負債	2,748	当期一般正味財産増減額	▲10,142	正味財産(純資産)	450,021	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	445,021	正味財産期末残高	450,021	指定正味財産	5,000	当期正味財産増減額	▲10,142		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	49,224	資産	461,524																																													
経常費用	58,873	流動資産	42,849																																													
当期経常増減額	▲9,469	固定資産	418,674																																													
経常外収益	825	負債	11,502																																													
経常外費用	1,318	流動負債	8,754																																													
当期経常外増減額	▲493	固定負債	2,748																																													
当期一般正味財産増減額	▲10,142	正味財産(純資産)	450,021																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	445,021																																													
正味財産期末残高	450,021	指定正味財産	5,000																																													
当期正味財産増減額	▲10,142																																															
5	問題点及び懸案事項	<p>1 公益目的事業比率は、57.4%と、公益法人が遵守すべき基準50%以上を達成したが、公益事業の赤字幅が大きく、収益を改善する必要がある。</p> <p>2 収益事業のふるさと納税返礼品の発送等業務の受託が一部終了するため、大幅な収入減が見込まれる。このため、新たな収益源の確保が必要。</p>																																														
6	対策及び処理状況	<p>1 公益事業及び収益事業の収益改善に向け、県として、日田市や関係機関と連携し、助言・指導していく。</p> <p>2 県として公益財団法人としての高い公益性を遵守するために必要な支援を、日田市や関係機関と連携して行う。</p> <p>3 日田玖珠地域の特色ある資源を活かした商品開発やターゲットに合わせた情報発信の手法など、日田市や関係機関と連携して指導する。</p>																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体12

(課・室名) 商業・サービス業振興課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分ブランドクリエイイト株式会社 代表取締役 安田 恒																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	50,000千円 52.6% 95,000千円																																																						
3	事業内容	大分県フラッグショップ「坐来大分」の運営 1 大分県産の食材を使ったレストランの経営 2 大分県特産品の販売																																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>250,613</td> <td>資産</td> <td>94,955</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>75,490</td> <td>流動資産</td> <td>92,815</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>175,122</td> <td>固定資産</td> <td>2,140</td> </tr> <tr> <td>販売費及び 一般管理費</td> <td>160,306</td> <td>負債</td> <td>29,294</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>14,816</td> <td>流動負債</td> <td>26,354</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,509</td> <td>固定負債</td> <td>2,940</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>122</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>16,203</td> <td>純資産</td> <td>65,660</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>0</td> <td>資本金</td> <td>77,500</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>16,203</td> <td>資本準備金</td> <td>17,500</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>3,968</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲29,340</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>12,235</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	250,613	資産	94,955	売上原価	75,490	流動資産	92,815	売上総利益	175,122	固定資産	2,140	販売費及び 一般管理費	160,306	負債	29,294	営業利益	14,816	流動負債	26,354	営業外収益	1,509	固定負債	2,940	営業外費用	122			経常利益	16,203	純資産	65,660	特別利益	0	資本金	77,500	税引前当期純利益	16,203	資本準備金	17,500	法人税、住民税及び事業税	3,968	利益剰余金	▲29,340	当期純利益	12,235		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	250,613	資産	94,955																																																					
売上原価	75,490	流動資産	92,815																																																					
売上総利益	175,122	固定資産	2,140																																																					
販売費及び 一般管理費	160,306	負債	29,294																																																					
営業利益	14,816	流動負債	26,354																																																					
営業外収益	1,509	固定負債	2,940																																																					
営業外費用	122																																																							
経常利益	16,203	純資産	65,660																																																					
特別利益	0	資本金	77,500																																																					
税引前当期純利益	16,203	資本準備金	17,500																																																					
法人税、住民税及び事業税	3,968	利益剰余金	▲29,340																																																					
当期純利益	12,235																																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>1 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、団体利用やインバウンド、社用での利用等が回復し、開業以来最高の売上高・来客者数を達成したが、一方で人手不足のため、増加業務に対応可能な従業員を確保できず、労働時間が増加。</p> <p>2 物価高騰の影響により仕入価格や光熱費が上昇する中での適正な原価率管理や収益の確保による累積赤字の解消。</p>																																																						
6	対策及び処理状況	<p>1 従業員の働き方改革として、令和6年7月から土曜日を完全休業とした。また、賃上げ、通勤手当の見直し、賞与の増額など、従業員の満足度の向上に努める。</p> <p>2 首都圏における料理業界を目指す県内の高校生や専門学校生等の採用を推進し、人材確保・育成を図る。</p> <p>3 今後の物価上昇に対応するため、厳格な原価管理を継続するとともに、食材のロス軽減・極小化、メニュー価格の改定や新商品開発等により増益・累積赤字の解消を図る。</p> <p>4 大手企業と連携した物産販売やイベントでの出張販売などにより、首都圏における県産品の露出機会を増やすとともに、SNSでの発信や語り部スタッフの研修、地域フェアの開催などにより、大分の情報発信に努め、大分県のフラッグショップとしての機能を一層強化する。</p>																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体13

(課・室名) 産業人材政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県総合雇用推進協会 会長 杉原 正晴																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	724,620千円 69.9% 1,036,492千円																																														
3	事業内容	1 若年者雇用・人材定住促進対策に関する事業 (1) 若年者等の就職に関する事業 (2) 人材定住に関する事業 2 高齢者・障がい者雇用対策に関する事業 (1) 生涯現役社会実現環境整備に関する事業 (2) 高齢者雇用支援に関する事業 (3) 障がい者の雇用促進に関する事業 3 上記2事業の広報啓発に関する事業																																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>225,986</td> <td>資産</td> <td>1,178,867</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>220,488</td> <td>流動資産</td> <td>87,275</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>5,498</td> <td>固定資産</td> <td>1,091,592</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>19,495</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>17,826</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>1,669</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>5,498</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,159,372</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲26,898</td> <td>一般正味財産</td> <td>92,597</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,159,372</td> <td>指定正味財産</td> <td>1,066,775</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲21,400</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 当期正味財産増減額▲21,400千円は、人材定住基金の取り崩しなどによる。</p>			○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)		経常収益	225,986	資産	1,178,867	経常費用	220,488	流動資産	87,275	当期経常増減額	5,498	固定資産	1,091,592	経常外収益	0	負債	19,495	経常外費用	0	流動負債	17,826	当期経常外増減額	0	固定負債	1,669	当期一般正味財産増減額	5,498	正味財産(純資産)	1,159,372	当期指定正味財産増減額	▲26,898	一般正味財産	92,597	正味財産期末残高	1,159,372	指定正味財産	1,066,775	当期正味財産増減額	▲21,400		
○正味財産増減計算書 (千円)		○貸借対照表 (千円)																																														
経常収益	225,986	資産	1,178,867																																													
経常費用	220,488	流動資産	87,275																																													
当期経常増減額	5,498	固定資産	1,091,592																																													
経常外収益	0	負債	19,495																																													
経常外費用	0	流動負債	17,826																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	1,669																																													
当期一般正味財産増減額	5,498	正味財産(純資産)	1,159,372																																													
当期指定正味財産増減額	▲26,898	一般正味財産	92,597																																													
正味財産期末残高	1,159,372	指定正味財産	1,066,775																																													
当期正味財産増減額	▲21,400																																															
5	問題点及び懸案事項	1 平成28年度から、人材定住基金を活用し、自主事業を安定的に実施することとしたが、雇用促進等に効果的に繋げていく必要がある。 2 県内中小企業の人手不足が深刻化する中、採用意欲のある企業の人材確保を支援するため、若年者の県内就職や高齢者・障がい者の雇用確保をより一層推進する必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 法人の実施する自主事業が「大分県長期総合計画」の推進に積極的な役割を果たし、県や国からの委託事業と相乗効果が発揮できるようにするため、定期的な協議の場を設け、積極的に意見調整を行う。 2 県内企業における採用力向上・職場定着支援のためのセミナー及び合同企業説明会の開催、企業のデジタル求人広告への支援等を行うほか、高齢者・障がい者の雇用推進に取り組む。																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体14

(課・室名) 観光政策課

項	目	概	要	等																																					
1	法人名及び代表者名	公益社団法人ツーリズムおおいた 会長 和田 久継																																							
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円（県職員を業務援助のために継続的に3名派遣）																																							
3	事業内容	<p>国内外観光宣伝及び観光客の誘致、観光・地域振興事業の実施、観光地の環境整備、観光情報・地域総合情報の提供、観光従事者の資質向上、地域連携DMOとしての調査研究、地域DMO及び関係団体との連絡調整等を実施している。</p> <p>※DMO：観光地域づくりを多様な主体とともに戦略的に取り組む調整機能を備えた法人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インバウンド推進事業 2 国内誘客総合対策事業 3 ツーリズム推進基盤強化事業 4 広域ツーリズム推進事業 5 おもてなし人材育成事業 等 																																							
4	5年度決算状況	<p>○正味財産増減計算書（千円）</p> <table border="0"> <tr><td>経常収益</td><td>420,696</td></tr> <tr><td>経常費用</td><td>402,703</td></tr> <tr><td>当期経常増減額</td><td>17,993</td></tr> <tr><td>経常外収益</td><td>0</td></tr> <tr><td>経常外費用</td><td>100</td></tr> <tr><td>当期経常外増減額</td><td>▲100</td></tr> <tr><td>当期一般正味財産増減額</td><td>17,893</td></tr> <tr><td>当期指定正味財産増減額</td><td>6,607</td></tr> <tr><td>正味財産期末残高</td><td>87,989</td></tr> <tr><td>当期正味財産増減額</td><td>24,500</td></tr> </table>	経常収益	420,696	経常費用	402,703	当期経常増減額	17,993	経常外収益	0	経常外費用	100	当期経常外増減額	▲100	当期一般正味財産増減額	17,893	当期指定正味財産増減額	6,607	正味財産期末残高	87,989	当期正味財産増減額	24,500	<p>○貸借対照表（千円）</p> <table border="0"> <tr><td>資産</td><td>281,608</td></tr> <tr><td>流動資産</td><td>219,914</td></tr> <tr><td>固定資産</td><td>61,694</td></tr> <tr><td>負債</td><td>193,620</td></tr> <tr><td>流動負債</td><td>193,620</td></tr> <tr><td>固定負債</td><td>0</td></tr> <tr><td>正味財産（純資産）</td><td>87,989</td></tr> <tr><td>一般正味財産</td><td>46,795</td></tr> <tr><td>指定正味財産</td><td>41,194</td></tr> </table>	資産	281,608	流動資産	219,914	固定資産	61,694	負債	193,620	流動負債	193,620	固定負債	0	正味財産（純資産）	87,989	一般正味財産	46,795	指定正味財産	41,194
経常収益	420,696																																								
経常費用	402,703																																								
当期経常増減額	17,993																																								
経常外収益	0																																								
経常外費用	100																																								
当期経常外増減額	▲100																																								
当期一般正味財産増減額	17,893																																								
当期指定正味財産増減額	6,607																																								
正味財産期末残高	87,989																																								
当期正味財産増減額	24,500																																								
資産	281,608																																								
流動資産	219,914																																								
固定資産	61,694																																								
負債	193,620																																								
流動負債	193,620																																								
固定負債	0																																								
正味財産（純資産）	87,989																																								
一般正味財産	46,795																																								
指定正味財産	41,194																																								
5	問題点及び懸案事項	<p>ツーリズム戦略に基づく本県観光振興の牽引役として、各種の企画及び立案ができるよう組織体制強化が不可欠である。</p> <p>また、持続可能な事業実施のため、安定的な収入の確保等、財政基盤の強化も課題である。</p> <p>令和2年度決算業務の際に確認された用途不明金事案の再発防止策を徹底し、信頼回復に向けた取組が必要である。</p>																																							
6	対策及び処理状況	<p>県域版DMOプラットフォーム機能やマーケティング機能の確立等に取り組み、DMOとしての体制強化を図る。</p> <p>また、用途不明金事案について、公社等外郭団体チェックリストの活用等による再発防止策を徹底する。</p> <p>県としても、今後の信頼回復に向け、DMOとしての本来の機能・役割を果たせるよう助言、指導を行う。</p>																																							

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体15

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県農業農村振興公社 理事長 工藤 利明		
2	県出資金等 出資比率 資本金等の総額	530,000千円 64.6% 820,000千円		
3	事業内容	1 農地利用の効率化や高度化に関する事業（農地中間管理事業） 2 畜産公共事業 3 担い手対策・就農支援資金貸付事業 4 大規模リース団地整備支援対策事業 5 世界農業遺産に関する事業 6 大分農業文化公園・都市農村交流研修館管理運営受託事業		
4	5年度決算状況	○正味財産増減計算書（千円） ○貸借対照表（千円） 経常収益 1,128,860 資産 8,755,153 経常費用 1,288,580 流動資産 344,839 当期経常増減額 ▲159,720 固定資産 8,410,314 経常外収益 0 負債 6,521,623 経常外費用 25,000 流動負債 6,308,846 当期経常外増減額 ▲25,000 固定負債 212,778 法人税等 1,089 正味財産（純資産） 2,233,530 当期一般正味財産増減額 ▲185,809 一般正味財産 1,313,478 当期指定正味財産増減額 25,000 指定正味財産 920,052 当期正味財産増減額▲160,809 ※主な内訳：大規模リース団地整備支援対策事業 ▲145,707		
5	問題点及び懸案事項	1 農地中間管理事業では、令和5年度の目標を上回る777haの農地を集積したものの、市町の地域計画策定への参画など、農地の集積・集約化に向けた取組の加速化が必要である。 2 大規模リース団地整備支援対策事業では、建設資材高騰等の影響もあり、事業量の確保が課題である。 3 るるパークでは、年間の来園者数及び売上額が、平成18年度の指定管理開始以降、最高の実績を記録したものの、更なる来園者の増加と満足度の向上を図る必要がある。		
6	対策及び処理状況	1 農地中間管理事業では、市町における地域計画の策定・実現を図るため、関係機関との連携のもと農地集積コントロール機能を発揮し、農地の集積・集約化に向けた取組を加速化する。 2 大規模リース団地整備支援対策事業では、県・市町との連携のもと、新規実施地区の選定と予算措置により、事業量の確保に努める。 3 るるパークでは、引き続き、四季折々の見所づくりやキャンプ場の充実等により、来園者の増加と満足度の向上を図る。		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体16

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県主要農作物改善協会 代表理事 佐土原 斉		
2	県出資金	8,000千円		
	出資比率	40.0%		
	資本金等の総額	20,000千円		
3	事業内容	1 種子対策事業（主要農作物の種子の確保及び供給等） 2 品質改善対策事業（優良種子の確保）		
4	5年度決算状況	○正味財産増減計算書（千円） 経常収益 67,208 経常費用 70,077 当期経常増減額 ▲2,869 経常外収益 0 経常外費用 0 当期経常外増減額 0 当期一般正味財産増減額 ▲2,869 当期指定正味財産増減額 0 正味財産期末残高 158,787 当期正味財産増減額 ▲2,869	○貸借対照表（千円） 資産 166,846 流動資産 37,053 固定資産 129,793 負債 8,059 流動負債 6,651 固定負債 1,408 正味財産（純資産）158,787 一般正味財産 158,787 指定正味財産 0	
5	問題点及び懸案事項	稲・麦・大豆の種子確保においては、供給不足や大量の過剰在庫が生じないように計画的な採種に努める必要がある。特に、令和7年度から全面転換を計画している大豆新品種（ちくしB5号）については、作付推進と連動した種子生産が重要である。		
6	対策及び処理状況	優良種子の確保について、品種ごとの需要動向を勘案した上で関係機関と協議を実施している。特に大豆の新品種については、高品質な種子の確保に向けた種子生産者への指導を行うなど、関係機関と連携し優良種子の安定供給を図っていく。		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体17

(課・室名) 水田畑地化・集落営農課

項	目	概	要	等																
1	法人名及び代表者名	一般社団法人大分県農業会議 会長 秋國 崇己																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0% 0千円 (県の補助金、交付金等の額又は委託料の額が、継続的に団体の財政規模の50%以上である団体)																		
3	事業内容	1 農業委員会等活動強化支援事業 2 機構集積支援事業 3 農業者年金業務委託事業 4 雇用就農資金事業																		
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 65,224</td> <td>資産 28,957</td> </tr> <tr> <td>経常費用 66,590</td> <td>流動資産 28,957</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 ▲1,366</td> <td>固定資産 0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 ▲1,366</td> <td>負債 26,867</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>流動負債 3,899</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲1,366</td> <td>固定負債 22,969</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正味財産(純資産) 2,090</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	経常収益 65,224	資産 28,957	経常費用 66,590	流動資産 28,957	当期経常増減額 ▲1,366	固定資産 0	当期一般正味財産増減額 ▲1,366	負債 26,867	当期指定正味財産増減額 0	流動負債 3,899	当期正味財産増減額 ▲1,366	固定負債 22,969		正味財産(純資産) 2,090
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																			
経常収益 65,224	資産 28,957																			
経常費用 66,590	流動資産 28,957																			
当期経常増減額 ▲1,366	固定資産 0																			
当期一般正味財産増減額 ▲1,366	負債 26,867																			
当期指定正味財産増減額 0	流動負債 3,899																			
当期正味財産増減額 ▲1,366	固定負債 22,969																			
	正味財産(純資産) 2,090																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 基本的に財産を有しない団体であるので、収入のほぼ全額が補助金、委託料、拠出金によって賄われており、財政的に厳しいが、今後も経費削減や補助金等の効果的な執行に努める。</p> <p>2 「地域計画」の策定及び実現に向けた農業委員会の役割は増加しており、農業委員会に対する支援等の業務の適正な実施が求められている。</p>																		
6	対策及び処理状況	<p>1 事務経費の削減を図るとともに、一人あたりの業務効率化を図ることで、引き続き財務体質の強化に努める。</p> <p>2 新任農業委員に対する研修を充実させるなど、資質の向上を図るとともに、農業委員会事務局長会議や事業担当者会議を開催し、委員会相互のネットワークの強化を図る。</p>																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体18

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																								
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県畜産協会 会長 森 誠一																																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	125,000千円 44.9% 278,240千円																																										
3	事業内容	<p>○畜産経営の安定的発展と畜産振興を促進する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 畜産経営体に対する経営及び技術改善指導等を実施する事業 2 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補てんする事業 3 消費者ニーズに沿った生産を推進する事業 4 家畜衛生対策を推進する事業 5 種畜（肉用牛、豚）の改良を推進する事業 6 一般消費者に対し畜産への理解を深めてもらうための事業 																																										
4	5年度決算状況	<p>○正味財産増減計算書（千円） ○貸借対照表（千円）</p> <table> <tr> <td>経常収益</td> <td>576,693</td> <td>資産</td> <td>1,643,826</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>568,330</td> <td>流動資産</td> <td>157,875</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>8,364</td> <td>固定資産</td> <td>1,485,950</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>3,600</td> <td>負債</td> <td>1,260,082</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>3,600</td> <td>流動負債</td> <td>33,882</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>1,226,200</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>8,364</td> <td>正味財産（純資産）</td> <td>383,743</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>383,743</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>383,743</td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>8,364</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			経常収益	576,693	資産	1,643,826	経常費用	568,330	流動資産	157,875	当期経常増減額	8,364	固定資産	1,485,950	経常外収益	3,600	負債	1,260,082	経常外費用	3,600	流動負債	33,882	当期経常外増減額	0	固定負債	1,226,200	当期一般正味財産増減額	8,364	正味財産（純資産）	383,743	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	383,743	正味財産期末残高	383,743	指定正味財産	0	当期正味財産増減額	8,364		
経常収益	576,693	資産	1,643,826																																									
経常費用	568,330	流動資産	157,875																																									
当期経常増減額	8,364	固定資産	1,485,950																																									
経常外収益	3,600	負債	1,260,082																																									
経常外費用	3,600	流動負債	33,882																																									
当期経常外増減額	0	固定負債	1,226,200																																									
当期一般正味財産増減額	8,364	正味財産（純資産）	383,743																																									
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	383,743																																									
正味財産期末残高	383,743	指定正味財産	0																																									
当期正味財産増減額	8,364																																											
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 畜産経営を取り巻く情勢は、飼料価格の高止まりをはじめ、子牛市場価格の低迷など依然として不透明な状況であり、畜産農家への各種支援策の早期実施を図る必要がある。 2 40歳以上の職員が過半を占めることから、職員の定年退職を見据えて、引き続き計画的な人材の確保と育成や自主財源の確保等を行い、経営の安定化を図る必要がある。 																																										
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 畜産業のデジタル化を見据えた体制整備により畜産生産者への支援業務の効率化を図るほか、関係団体を対象にコンサルタント能力の向上を目的とした研修会等を実施し、畜産農家への支援体制の強化を図る。 2 各種支援事業の拡大による手数料収入等自主財源の安定的確保を図るほか、新規人材の確保・育成に加えて、グループウェア等を利用したデジタル化による業務の効率化や公認会計士等の外部人材の活用により、各種支援事業に係る執行体制を強化し、確実な事業展開を図る。 																																										

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体20

(課・室名) 水産振興課

項	目	概	要	等																																				
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県漁業公社 理事長 大屋 寛 (農林水産部審議監兼漁業管理課長)																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	50,000千円 59.2% 84,500千円																																						
3	事業内容	1 放流用種苗の生産・販売及びあっせん 2 養殖用種苗の生産・販売及びあっせん																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>191,450</td> <td>資産</td> <td>123,280</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>189,954</td> <td>流動資産</td> <td>93,760</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>1,496</td> <td>固定資産</td> <td>29,520</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>73,346</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>22,930</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>50,416</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td>266</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>49,934</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>1,231</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	191,450	資産	123,280	経常費用	189,954	流動資産	93,760	当期経常増減額	1,496	固定資産	29,520	経常外収益	0	負債	73,346	経常外費用	0	流動負債	22,930	当期経常外増減額	0	固定負債	50,416	法人税等	266	正味財産(純資産)	49,934	当期正味財産増減額	1,231		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																						
経常収益	191,450	資産	123,280																																					
経常費用	189,954	流動資産	93,760																																					
当期経常増減額	1,496	固定資産	29,520																																					
経常外収益	0	負債	73,346																																					
経常外費用	0	流動負債	22,930																																					
当期経常外増減額	0	固定負債	50,416																																					
法人税等	266	正味財産(純資産)	49,934																																					
当期正味財産増減額	1,231																																							
5	問題点及び懸案事項	<p>1 令和5年度の当期正味財産増減額は1,231千円となり黒字を確保できた。 引き続き通常経費の削減に努める必要がある。</p> <p>2 新たな種苗生産施設が令和6年7月に竣工したことから、効率的な施設の運用に努め、安定的な種苗生産を行う必要がある。</p>																																						
6	対策及び処理状況	<p>1 新施設の効率的な運用と職員のコスト意識の徹底により、光熱費や材料費の節減を進め経費削減を図る。</p> <p>2 生産能力が強化された新施設を活用しながら、安定的に種苗を生産し販売を行う。</p>																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体21

(課・室名) 建設政策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県建設技術センター 理事長 島津 恵造																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	20,000千円 66.7% 30,000千円																																														
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会資本の整備及び県土づくりを担う人材育成に向けた技術・技能の研修、普及啓発及び情報提供事業 2 社会資本の整備や維持管理、県土づくり等に関する技術相談及び積算、技術審査、品質監理、検査等に係る支援事業 3 社会資本の品質確保に係る各種材料試験及び調査研究事業 4 社会資本の情報化へ向けての支援事業 5 その他目的を達成するために必要な事業 																																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>527,006</td> <td>資産</td> <td>1,815,123</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>421,401</td> <td>流動資産</td> <td>236,803</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>105,605</td> <td>固定資産</td> <td>1,578,320</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>153,545</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>46,141</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>107,405</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>105,605</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>1,661,578</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>0</td> <td>一般正味財産</td> <td>1,631,578</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>1,661,578</td> <td>指定正味財産</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>105,605</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	527,006	資産	1,815,123	経常費用	421,401	流動資産	236,803	当期経常増減額	105,605	固定資産	1,578,320	経常外収益	0	負債	153,545	経常外費用	0	流動負債	46,141	当期経常外増減額	0	固定負債	107,405	当期一般正味財産増減額	105,605	正味財産(純資産)	1,661,578	当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	1,631,578	正味財産期末残高	1,661,578	指定正味財産	30,000	当期正味財産増減額	105,605		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	527,006	資産	1,815,123																																													
経常費用	421,401	流動資産	236,803																																													
当期経常増減額	105,605	固定資産	1,578,320																																													
経常外収益	0	負債	153,545																																													
経常外費用	0	流動負債	46,141																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	107,405																																													
当期一般正味財産増減額	105,605	正味財産(純資産)	1,661,578																																													
当期指定正味財産増減額	0	一般正味財産	1,631,578																																													
正味財産期末残高	1,661,578	指定正味財産	30,000																																													
当期正味財産増減額	105,605																																															
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 建設産業従事者の減少を踏まえ、県土づくりを担う建設人材の育成と技術力の向上に資するよう、更なる研修内容の充実に努める必要がある。 2 公益財団法人として安定的な法人運営を継続しながら、県及び市町村の支援・補完機関として、更なる体制や連携の強化を図る必要がある。 																																														
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 民間建設業関係者も含めた技術・技能向上のための研修事業の充実に取り組む。 2 県・市町村の支援・補完機関として、相談業務、積算業務、施工監理、技術者育成、災害等・緊急時の支援など、ニーズに合わせた的確な事業を実施する。特に、県・市町村が共同利用する積算システムの運営に取り組み、一括管理による積算業務の効率化や災害発生時の応援体制の円滑化を図る。 																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体22

(課・室名) 用地対策課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県土地開発公社 理事長 渡辺 文雄																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	30,000千円 100% 30,000千円																																																		
3	事業内容	<p>国、地方公共団体の委託等に基づく道路、公園、その他公共施設等に要する土地の取得、造成、管理及び売却等</p> <p>1 公有地取得・売却事業（道路、公園等の用地買収、売却等）</p> <p>2 土地造成・売却事業（工業団地等の造成、管理、売却等）</p> <p>3 あっせん等事業（用地取得のあっせん、調査、測量等）</p> <p>4 関連施設整備事業（公共施設又は公用施設の整備）</p>																																																		
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>4,448,336</td> <td>資産</td> <td>7,177,667</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>4,411,895</td> <td>流動資産</td> <td>6,863,494</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>36,441</td> <td>固定資産</td> <td>314,173</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>20,013</td> <td>負債</td> <td>5,678,621</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>16,428</td> <td>流動負債</td> <td>1,666,420</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>10,832</td> <td>固定負債</td> <td>4,012,201</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>1,100</td> <td>純資産</td> <td>1,499,047</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>26,160</td> <td>資本金</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>0</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>100,719</td> <td>利益剰余金</td> <td>1,469,047</td> </tr> <tr> <td>当期損益</td> <td>▲74,558</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	4,448,336	資産	7,177,667	売上原価	4,411,895	流動資産	6,863,494	売上総利益	36,441	固定資産	314,173	販売費及び一般管理費	20,013	負債	5,678,621	営業利益	16,428	流動負債	1,666,420	営業外収益	10,832	固定負債	4,012,201	営業外費用	1,100	純資産	1,499,047	経常利益	26,160	資本金	30,000	特別利益	0	資本剰余金	0	特別損失	100,719	利益剰余金	1,469,047	当期損益	▲74,558		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	4,448,336	資産	7,177,667																																																	
売上原価	4,411,895	流動資産	6,863,494																																																	
売上総利益	36,441	固定資産	314,173																																																	
販売費及び一般管理費	20,013	負債	5,678,621																																																	
営業利益	16,428	流動負債	1,666,420																																																	
営業外収益	10,832	固定負債	4,012,201																																																	
営業外費用	1,100	純資産	1,499,047																																																	
経常利益	26,160	資本金	30,000																																																	
特別利益	0	資本剰余金	0																																																	
特別損失	100,719	利益剰余金	1,469,047																																																	
当期損益	▲74,558																																																			
5	問題点及び懸案事項	<p>1 毎年度増減する国、県、市町村の用地取得事業等に対し、公社の有する専門性とノウハウを活用し各事業主体を効率的にサポートするためにも、事業を安定的に受託することが課題である。</p> <p>2 大分北部中核工業団地（全28区画）の残る2区画と、平成30年度に造成工事が完了した玖珠工業団地（全2区画）の残る1区画について、早期売却を図る必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 平成29年度、県と公社で向こう5カ年の中期事業計画を策定し、以降毎年度事業量を見直し、計画を更新している。今後も更新を継続し、計画的かつ効率的な業務執行体制を整備し、事業を実施していく。</p> <p>2 公社保有の工業用地については、県の事業所管課と連携して売却促進に努める。</p>																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体23

(課・室名) 港湾課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	株式会社大分国際貿易センター 代表取締役社長 藤澤 崇資																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	180,000千円 27.3% 659,000千円																																														
3	事業内容	1 大分国際貿易センタービル、冷凍冷蔵倉庫、食品流通加工センターなど不動産の賃貸業 2 大分港大在コンテナターミナルの管理運営（指定管理受託） 3 関係機関と連携したポートセールス																																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>141,311</td> <td>資産</td> <td>955,776</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>98,132</td> <td>流動資産</td> <td>548,715</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>43,178</td> <td>固定資産</td> <td>407,061</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>25,668</td> <td>負債</td> <td>76,649</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>17,511</td> <td>流動負債</td> <td>43,806</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>15,814</td> <td>固定負債</td> <td>32,842</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>33,325</td> <td>純資産</td> <td>879,128</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>33,325</td> <td>資本金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>9,803</td> <td>及び資本準備金</td> <td>659,000</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>23,522</td> <td>利益剰余金</td> <td>220,128</td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	141,311	資産	955,776	売上原価	98,132	流動資産	548,715	売上総利益	43,178	固定資産	407,061	販売費及び一般管理費	25,668	負債	76,649	営業利益	17,511	流動負債	43,806	営業外収益	15,814	固定負債	32,842	経常利益	33,325	純資産	879,128	税引前当期純利益	33,325	資本金		法人税、住民税及び事業税	9,803	及び資本準備金	659,000	当期純利益	23,522	利益剰余金	220,128
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																														
売上高	141,311	資産	955,776																																													
売上原価	98,132	流動資産	548,715																																													
売上総利益	43,178	固定資産	407,061																																													
販売費及び一般管理費	25,668	負債	76,649																																													
営業利益	17,511	流動負債	43,806																																													
営業外収益	15,814	固定負債	32,842																																													
経常利益	33,325	純資産	879,128																																													
税引前当期純利益	33,325	資本金																																														
法人税、住民税及び事業税	9,803	及び資本準備金	659,000																																													
当期純利益	23,522	利益剰余金	220,128																																													
5	問題点及び懸案事項	1 冷凍冷蔵倉庫等賃貸施設が整備後26年以上を経過するなど所有建物の老朽化が進んでいる。コスト削減など経営改善により、平成13年度から23期連続して黒字となっているものの、経営の安定化を図る観点から、計画的な維持管理・更新を行う必要がある。 2 令和3年度に着手したコンテナクレーンの更新は8年度の完了を予定しており、工期中も既存設備の安全性と物流の定時性を確保する必要がある。 3 関係機関と連携したポートセールスにより、更なる大在コンテナターミナルの利用促進を図る必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	1 中長期的なトータルコストの縮減・平準化のため、老朽化が進んだ施設の維持管理計画による、計画的な施設改修・更新を今後も継続し、安定的な経営を行う。 2 コンテナクレーンの機能停止は航路の休止・撤退に繋がる恐れがあるため、県事業所管部署と連携し、既存設備に係る安全かつ定時サービスの提供と更新事業の着実な実施を図る。 3 今後とも、県等が実施する港湾施設使用料の減免や、条件不利地域等に対する助成制度などを活用し、県や大分市、関係団体と連携したポートセールスに努める。																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体24

(課・室名) 建築住宅課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県住宅供給公社 理事長 渡辺 文雄																																																		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	10,000千円 100% 10,000千円																																																		
3	事業内容	<p>主な事業</p> <p>1 受託事業 公営住宅管理受託（大分県、大分市、佐伯市、竹田市、豊後高田市、豊後大野市、臼杵市、杵築市、別府市、中津市、由布市、津久見市、国東市）</p> <p>2 賃貸管理事業 公社所有賃貸住宅・施設の管理</p> <p>3 分譲事業 分譲宅地の販売（国東市向陽台）</p>																																																		
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,382,936</td> <td>資産</td> <td>3,141,138</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,194,592</td> <td>流動資産</td> <td>798,684</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>188,344</td> <td>固定資産</td> <td>2,342,455</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理</td> <td>74,069</td> <td>負債</td> <td>678,695</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>114,275</td> <td>流動負債</td> <td>283,735</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>390</td> <td>固定負債</td> <td>394,960</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>15,277</td> <td>純資産</td> <td>2,462,443</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>99,388</td> <td>資本金</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>497</td> <td>資本剰余金</td> <td>1,350,896</td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>19,248</td> <td>利益剰余金</td> <td>1,034,836</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>80,638</td> <td>特定目的積立金</td> <td>66,711</td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	1,382,936	資産	3,141,138	売上原価	1,194,592	流動資産	798,684	売上総利益	188,344	固定資産	2,342,455	販売費及び一般管理	74,069	負債	678,695	営業利益	114,275	流動負債	283,735	営業外収益	390	固定負債	394,960	営業外費用	15,277	純資産	2,462,443	経常利益	99,388	資本金	10,000	特別利益	497	資本剰余金	1,350,896	特別損失	19,248	利益剰余金	1,034,836	当期純利益	80,638	特定目的積立金	66,711
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	1,382,936	資産	3,141,138																																																	
売上原価	1,194,592	流動資産	798,684																																																	
売上総利益	188,344	固定資産	2,342,455																																																	
販売費及び一般管理	74,069	負債	678,695																																																	
営業利益	114,275	流動負債	283,735																																																	
営業外収益	390	固定負債	394,960																																																	
営業外費用	15,277	純資産	2,462,443																																																	
経常利益	99,388	資本金	10,000																																																	
特別利益	497	資本剰余金	1,350,896																																																	
特別損失	19,248	利益剰余金	1,034,836																																																	
当期純利益	80,638	特定目的積立金	66,711																																																	
5	問題点及び懸案事項	<p>1 公営住宅管理受託者として、入居者に対するサービスの向上、家賃収納率の向上、個人情報の保護など適切な管理を行うとともに、県営・市営住宅の窓口一元化による県民サービスの向上や経費の縮減等の経営努力を行う必要がある。また、未受託の市に対して、新規受託の協議を進める必要がある。</p> <p>2 残された分譲用資産である国東市向陽台分譲宅地の早期売却を図る必要がある。</p>																																																		
6	対策及び処理状況	<p>1 県営・市営住宅の一体的な管理により、住居相談のワンストップ化など入居サービス水準の向上を図るため、今後も受託事業における公営住宅の管理代行を拡充するとともに、受託済みの市においても、窓口の一元化を進める。また、経営の安定化を図るため、より一層の業務執行の効率化や県民サービスの向上に向けて職員の資質向上に取り組み、適正な管理体制の整備に努める。</p> <p>未受託の市については、各市の状況を考慮しながら、なるべく多くの市から新規受託できるよう協議を進める。</p> <p>2 戸建住宅用地は残りわずか（全260区画中255区画販売済）であるが、商業施設用地・集合住宅用地（各1区画）は販売の目途が立っていないことから、用途にこだわらず有効活用策について検討を進める。</p>																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体25

(課・室名) 教育財務課

項	目	概	要	等																				
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県奨学会 理事長 久家 里三																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	475,911千円 23.4% 2,034,173千円																						
3	事業内容	1 奨学資金の貸与 令和5年度実績 (高等学校等奨学金) 一般奨学生 732人 210,859千円 通学費等奨学金 42人 2,442千円 修学旅行費等奨学金 79人 10,920千円 入学支度金 176人 13,850千円 (大学奨学金) 226人 131,012千円 2 奨学資金の貸与を受ける学生及び生徒の補導 3 その他目的を達成するために必要な事業																						
4	5年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円) 経常収益 34,999 資産 10,788,903 経常費用 35,040 流動資産 27,018 評価損益 18,928 固定資産 10,761,885 当期経常増減額 18,887 負債 6,827,393 当期経常外増減額 0 流動負債 2,289 当期一般正味財産増減額 18,887 固定負債 6,825,105 当期指定正味財産増減額 0 正味財産(純資産) 3,961,509 正味財産期末残高 3,961,509 一般正味財産 2,518,797 当期正味財産増減額 18,887 指定正味財産 1,442,712																						
5	問題点及び懸案事項	奨学金の返還時期を迎える者の数のピークは迎えているが、滞納者数は増加しており、法人経営の安定と、将来の奨学金事業の財源確保のため、返還金債権の確実な回収が課題となっている。 (単位：人) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H17</th> <th>H22</th> <th>R04</th> <th>R05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>返還対象者数</td> <td>1,920</td> <td>4,447</td> <td>15,160</td> <td>14,735</td> </tr> <tr> <td>滞納者数</td> <td>188</td> <td>704</td> <td>2,826</td> <td>3,649</td> </tr> <tr> <td>返還率(%)</td> <td>83.5</td> <td>79.5</td> <td>73.8</td> <td>70.9</td> </tr> </tbody> </table> ※返還率＝返還額÷返還予定額			年度	H17	H22	R04	R05	返還対象者数	1,920	4,447	15,160	14,735	滞納者数	188	704	2,826	3,649	返還率(%)	83.5	79.5	73.8	70.9
年度	H17	H22	R04	R05																				
返還対象者数	1,920	4,447	15,160	14,735																				
滞納者数	188	704	2,826	3,649																				
返還率(%)	83.5	79.5	73.8	70.9																				
6	対策及び処理状況	1 平成21年度から債権管理事務委託の導入により、専らその回収に従事する職員を配置し、平成24年度からは人数を2人に増員するとともに債権管理に精通した人材を配置することで返還率の向上に努めている。 2 令和5年9月から、長く返還に応じない一部の未収金の回収業務に外部委託を導入し、更なる返還率の向上を図る取り組みを開始した。																						

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体26

(課・室名) 体 育 保 健 課

項 目	概 要 等																																												
1 法人名及び代表者名	公益財団法人大分県スポーツ協会 会長 麻生 益直																																												
2 県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 14.3% 13,958千円																																												
3 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 国民体育大会・九州ブロック大会等の各種スポーツ大会及びスポーツに関する技能・体力・競技力の向上に対する助成並びに指導者の資質向上等を図る事業 スポーツを通じて児童・青少年の健全な育成を図るための各種大会の開催、助成並びにスポーツに関する講習会・研修会等の開催及び助成事業 スポーツに関する指導体制等の拡充及びスポーツ選手の育成・強化等に関する事業並びに地域のスポーツ振興及びスポーツに関する団体の組織拡充等に関する事業 スポーツの健全な普及・振興等に功績のあった個人・団体に対する表彰事業 スポーツ水準の向上を図るためのスポーツ医科学等の調査・研究等に関する事業 ホームページの運営、広報誌発行等によるスポーツの普及事業並びに関係機関への情報提供、連携等によるスポーツ振興に関する事業 																																												
4 5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○正味財産増減計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>254,744</td> <td>資産</td> <td>49,137</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>255,593</td> <td>流動資産</td> <td>45,829</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲848</td> <td>固定資産</td> <td>3,308</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>8,248</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>8,248</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲848</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>40,889</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲1,605</td> <td>一般正味財産</td> <td>40,889</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>40,889</td> <td>指定正味財産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲2,453</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	254,744	資産	49,137	経常費用	255,593	流動資産	45,829	当期経常増減額	▲848	固定資産	3,308	経常外収益	0	負債	8,248	経常外費用	0	流動負債	8,248	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	▲848	正味財産(純資産)	40,889	当期指定正味財産増減額	▲1,605	一般正味財産	40,889	正味財産期末残高	40,889	指定正味財産	0	当期正味財産増減額	▲2,453		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																											
経常収益	254,744	資産	49,137																																										
経常費用	255,593	流動資産	45,829																																										
当期経常増減額	▲848	固定資産	3,308																																										
経常外収益	0	負債	8,248																																										
経常外費用	0	流動負債	8,248																																										
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																										
当期一般正味財産増減額	▲848	正味財産(純資産)	40,889																																										
当期指定正味財産増減額	▲1,605	一般正味財産	40,889																																										
正味財産期末残高	40,889	指定正味財産	0																																										
当期正味財産増減額	▲2,453																																												
5 問題点及び懸案事項	県からの負担金が経常収益の8割を超えていることを踏まえ、安定的な自主財源の確保による財政基盤の確立が必要となっている。																																												
6 対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 財政基盤の確立に向け、平成29年度から加盟団体分担金を改定し、自主財源の増額を図った。 新たな賛助会制度を構築し、企業・個人に対する賛助会員の拡大に努めている。 スポーツ振興、県民体力の向上を推進する役割が十分果たせるよう、組織的に取り組む体制の整備に向け、県として指導・協力を行っていく。 																																												

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体27

(課・室名) 警察本部 組織犯罪対策課

項	目	概	要	等																																												
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県暴力追放運動推進センター 理事長 後藤 富一郎																																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	465,000千円 76.3% 609,500千円																																														
3	事業内容	1 暴力根絶のための広報・啓発活動 2 暴力追放運動組織に対する支援活動 3 暴力団員による不当な行為に関する相談活動 4 少年に対する暴力団の影響を排除するための活動 5 暴力団からの離脱援助活動 6 事業者に対する援助活動 7 暴力団員による不当行為の被害者に対する保護、支援救済活動 8 暴力団事務所の使用差止請求関係業務の推進 等																																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>24,548</td> <td>資産</td> <td>627,304</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>24,940</td> <td>流動資産</td> <td>10,212</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>▲392</td> <td>固定資産</td> <td>617,093</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>810</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>810</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額</td> <td>▲392</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>626,494</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額</td> <td>▲3</td> <td>一般正味財産</td> <td>621,494</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高</td> <td>626,494</td> <td>指定正味財産</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>▲396</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	24,548	資産	627,304	経常費用	24,940	流動資産	10,212	当期経常増減額	▲392	固定資産	617,093	経常外収益	0	負債	810	経常外費用	0	流動負債	810	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期一般正味財産増減額	▲392	正味財産(純資産)	626,494	当期指定正味財産増減額	▲3	一般正味財産	621,494	正味財産期末残高	626,494	指定正味財産	5,000	当期正味財産増減額	▲396		
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																														
経常収益	24,548	資産	627,304																																													
経常費用	24,940	流動資産	10,212																																													
当期経常増減額	▲392	固定資産	617,093																																													
経常外収益	0	負債	810																																													
経常外費用	0	流動負債	810																																													
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																													
当期一般正味財産増減額	▲392	正味財産(純資産)	626,494																																													
当期指定正味財産増減額	▲3	一般正味財産	621,494																																													
正味財産期末残高	626,494	指定正味財産	5,000																																													
当期正味財産増減額	▲396																																															
5	問題点及び懸案事項	賛助会員の獲得が困難化の傾向にあることから、企業訪問(令和5年度:836社実施)や不当要求防止責任者講習(同:29回1,123人受講)を通じて、県民の理解を得ながら賛助金の獲得に努める必要がある。																																														
6	対策及び処理状況	賛助会員の新規開拓等を推進し、資金基盤の整備及び安定運用を図る。																																														

県出資法人の経営状況報告概要書

指定団体28

(課・室名) 警察本部 交通企画課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県交通安全協会 会長 杉原 正晴		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	0千円 0.0% 45,155千円		
3	事業内容	1 適正な交通の方法、交通事故の防止及び交通安全思想の普及のための広報啓発、交通安全教育に関する事業 2 交通事故の防止及び交通秩序維持のための優良運転者の育成、運転者教育に関する事業 3 道路における交通の安全と円滑を推進するための企画、調査研究に関する事業 4 その他目的を達成するために必要な事業		
4	5年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円) 経常収益 747,234 資産 1,548,400 経常費用 774,559 流動資産 678,450 当期経常増減額 ▲27,325 固定資産 869,950 経常外収益 0 負債 188,547 経常外費用 0 流動負債 67,604 当期経常外増減額 0 固定負債 120,943 当期一般正味財産増減額 ▲27,325 正味財産(純資産) 1,359,853 当期指定正味財産増減額 0 指定正味財産 0 正味財産期末残高 1,359,853 一般正味財産 1,359,853 当期正味財産増減額 ▲27,325		
5	問題点及び懸案事項	事業面では、令和5年中の交通事故が前年比で件数、死傷者数ともに減少し、一定の効果を実現できている。 財政面では、平成26年から実施した財政再建計画により、平成29、30年度を除き黒字基調で推移してきたものの、令和4年度から令和5年度にかけては、免許更新者の減少により講習収益及び会費収入が減収し、また、自動車学校事業収益も入校生の減少により減収となったことから、経常赤字となった。 令和6年度は、免許更新者の増加が見込まれており、経常黒字になると予想される。		
6	対策及び処理状況	今後も免許更新者の増減に左右されることが予想されることから、業務の効率化を図るとともに、会員加入率の向上等に努める必要がある。		

県出資法人の経営状況報告概要書

その他01

(課・室名) スポーツ振興室

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	株式会社大分フットボールクラブ 代表取締役 小澤 正風																																																		
2	県出資金	10,000千円																																																		
	出資比率	3.7%																																																		
	資本金等の総額	268,519千円																																																		
3	事業内容	1 サッカーチーム（大分トリニータ）の経営 2 サッカー等のスポーツ選手の養成、指導並びに管理 3 スポーツ教室の開催、普及 4 スポーツ競技会及び各種イベントの企画運営等																																																		
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○損益計算書（千円）</td> <td></td> <td>○貸借対照表（千円）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,861,375</td> <td>資産</td> <td>591,630</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,504,980</td> <td>流動資産</td> <td>472,311</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>356,394</td> <td>固定資産</td> <td>119,319</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>308,497</td> <td>負債</td> <td>455,328</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>47,896</td> <td>流動負債</td> <td>424,028</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>2,386</td> <td>固定負債</td> <td>31,300</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>664</td> <td>純資産</td> <td>136,302</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>49,619</td> <td>資本金</td> <td>134,267</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>49,619</td> <td>資本剰余金</td> <td>134,252</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>2,046</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲132,216</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>47,572</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	1,861,375	資産	591,630	売上原価	1,504,980	流動資産	472,311	売上総利益	356,394	固定資産	119,319	販売費及び一般管理費	308,497	負債	455,328	営業利益	47,896	流動負債	424,028	営業外収益	2,386	固定負債	31,300	営業外費用	664	純資産	136,302	経常利益	49,619	資本金	134,267	税引前当期純利益	49,619	資本剰余金	134,252	法人税、住民税及び事業税	2,046	利益剰余金	▲132,216	当期純利益	47,572		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																		
売上高	1,861,375	資産	591,630																																																	
売上原価	1,504,980	流動資産	472,311																																																	
売上総利益	356,394	固定資産	119,319																																																	
販売費及び一般管理費	308,497	負債	455,328																																																	
営業利益	47,896	流動負債	424,028																																																	
営業外収益	2,386	固定負債	31,300																																																	
営業外費用	664	純資産	136,302																																																	
経常利益	49,619	資本金	134,267																																																	
税引前当期純利益	49,619	資本剰余金	134,252																																																	
法人税、住民税及び事業税	2,046	利益剰余金	▲132,216																																																	
当期純利益	47,572																																																			
5	問題点及び懸案事項	1 チケット収入やスポンサー収入等の収益の確保と、あらゆる経費の削減に引き続き努めるとともに、持続可能な経営体となるための経営体質の強化が求められている。 2 ポストコロナにおいて、ホームゲーム観客数は戻りつつあるものの、事業の柱である試合運営によるチケット収入の確保に、依然大きな影響が生じており厳しい経営環境が続いている。 また、ユニフォームスポンサーの確保など、スポンサーへの営業活動の強化が急務となっている。																																																		
6	対策及び処理状況	1 平成21年度の経営危機以降、経営体制の刷新、新たなスポンサーの獲得などによる収入の確保、人件費をはじめとするあらゆる経費の削減など合理化に努めてきた。 2 非常に厳しい経営環境の中ではあるが、近年は資金の調達手段としてクラウドファンディングに取り組んでいる。今後も様々な手段を活用して資金確保を図り、J1昇格を目標にチームの強化やクラブの経営基盤の安定に取り組むこととしている。																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

その他02

(課・室名) 交通政策企画課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社別府交通センター 代表取締役社長 安部 喜代治																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	39,000千円 21.7% 180,000千円																																																						
3	事業内容	1 別府国際観光港前バスターミナルの運営、管理業務 2 土産品等の販売 3 食堂の経営及び飲食物類の販売																																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書（千円）</td> <td colspan="2">○貸借対照表（千円）</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>380,202</td> <td>資産</td> <td>265,417</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>239,728</td> <td>流動資産</td> <td>206,934</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>140,474</td> <td>固定資産</td> <td>58,483</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>121,825</td> <td>負債</td> <td>109,812</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>18,649</td> <td>流動負債</td> <td>46,629</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,509</td> <td>固定負債</td> <td>63,182</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>475</td> <td>純資産</td> <td>155,605</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>19,683</td> <td>資本金</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>特別利益</td> <td>0</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>19,683</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲24,395</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>4,617</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>当期純利益</u></td> <td><u>15,066</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）		売上高	380,202	資産	265,417	売上原価	239,728	流動資産	206,934	売上総利益	140,474	固定資産	58,483	販売費及び一般管理費	121,825	負債	109,812	営業利益	18,649	流動負債	46,629	営業外収益	1,509	固定負債	63,182	営業外費用	475	純資産	155,605	経常利益	19,683	資本金	180,000	特別利益	0	資本剰余金	0	税引前当期純利益	19,683	利益剰余金	▲24,395	法人税、住民税及び事業税	4,617			<u>当期純利益</u>	<u>15,066</u>		
○損益計算書（千円）		○貸借対照表（千円）																																																						
売上高	380,202	資産	265,417																																																					
売上原価	239,728	流動資産	206,934																																																					
売上総利益	140,474	固定資産	58,483																																																					
販売費及び一般管理費	121,825	負債	109,812																																																					
営業利益	18,649	流動負債	46,629																																																					
営業外収益	1,509	固定負債	63,182																																																					
営業外費用	475	純資産	155,605																																																					
経常利益	19,683	資本金	180,000																																																					
特別利益	0	資本剰余金	0																																																					
税引前当期純利益	19,683	利益剰余金	▲24,395																																																					
法人税、住民税及び事業税	4,617																																																							
<u>当期純利益</u>	<u>15,066</u>																																																							
5	問題点及び懸案事項	1 コロナ禍後の来店客数・売上の確保と累積赤字の解消 2 別府港再編計画を踏まえた今後の経営方針の策定																																																						
6	対策及び処理状況	1 令和6年度も引き続き、営業、店舗づくり、メニュー開発、コスト削減といった会社の経営全般で地道な努力を重ねていくとともに、コロナ禍を経て変化しつつある旅のスタイルなどを見極めながら、来店客数、売上、当期利益の確保に努める。また、インバウンドの客足が戻りつつあることから、団体旅行の誘致等にも積極的に取り組む。 2 別府港の再編に伴い、別府交通センターのあり方や今後の経営方針について協議していく。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他03

(課・室名) 地域交通・物流対策室

項	目	概	要	等																								
1	法人名及び代表者名	一般財団法人大分県自動車会議所 理事長 渡邊 教和																										
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	500千円 20.4% 2,450千円																										
3	事業内容	1 自動車に関する調査研究及び普及宣伝 2 自動車に関する事業者間の連絡協調 3 自動車に関する意見の公表及び関係諸官庁への諸願建議 4 交通安全事業者の促進及び協力 5 交通会館の経営及び維持																										
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算表 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 26,599</td> <td>資 産 123,436</td> </tr> <tr> <td>経常費用 30,080</td> <td>流動資産 8,803</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 ▲3,481</td> <td>固定資産 114,633</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 2,496</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 966</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>固定負債 1,530</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 ▲3,481</td> <td>正味財産(純資産) 120,940</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>一般正味財産 67,965</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 120,940</td> <td>指定正味財産 52,975</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲3,481</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長期借入金 0</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算表 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 26,599	資 産 123,436	経常費用 30,080	流動資産 8,803	当期経常増減額 ▲3,481	固定資産 114,633	経常外収益 0	負債 2,496	経常外費用 0	流動負債 966	当期経常外増減額 0	固定負債 1,530	当期一般正味財産増減額 ▲3,481	正味財産(純資産) 120,940	当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 67,965	正味財産期末残高 120,940	指定正味財産 52,975	当期正味財産増減額 ▲3,481		長期借入金 0	
○正味財産増減計算表 (千円)	○貸借対照表 (千円)																											
経常収益 26,599	資 産 123,436																											
経常費用 30,080	流動資産 8,803																											
当期経常増減額 ▲3,481	固定資産 114,633																											
経常外収益 0	負債 2,496																											
経常外費用 0	流動負債 966																											
当期経常外増減額 0	固定負債 1,530																											
当期一般正味財産増減額 ▲3,481	正味財産(純資産) 120,940																											
当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 67,965																											
正味財産期末残高 120,940	指定正味財産 52,975																											
当期正味財産増減額 ▲3,481																												
長期借入金 0																												
5	問題点及び懸案事項	1 会館建築後から46年が経過したため、施設の老朽化に伴う各設備の修繕等が必要となる可能性がある。 2 施設修繕費が増加したため、令和5年度は赤字となった。																										
6	対策及び処理状況	1 会館の適正な維持管理を継続する。 2 今後は、賛助会員の募集、会議室の利用促進を積極的に行い、増収を図る。																										

県出資法人の経営状況報告概要書

その他04

(課・室名) 健康政策・感染症対策課

項	目	概	要	等																																														
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県アイバンク協会 理事長 久保田 敏昭																																																
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	5,000千円 7.0% 71,500千円																																																
3	事業内容	1 献眼する者の募集及び登録に関する事業を行うこと。 2 提供される眼球の摘出、輸送、検査、保存及びあっせんに関する事業を行うこと。 3 献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発に関する事業を行うこと。 4 その他当法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと。																																																
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td></td> <td>○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収益</td> <td>5,581</td> <td>資産</td> <td>77,761</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>3,970</td> <td>流動資産</td> <td>3,233</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額</td> <td>1,611</td> <td>固定資産</td> <td>74,528</td> </tr> <tr> <td>経常外収益</td> <td>0</td> <td>負債</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>経常外費用</td> <td>0</td> <td>流動負債</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額</td> <td>0</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額</td> <td>1,611</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>77,682</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">主な収入</td> </tr> <tr> <td>国庫補助金</td> <td>1,489千円</td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td>1,421千円</td> </tr> <tr> <td>眼球斡旋手数料</td> <td>1,080千円</td> </tr> <tr> <td>賛助会費</td> <td>732千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主な支出</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>1,408千円</td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		経常収益	5,581	資産	77,761	経常費用	3,970	流動資産	3,233	当期経常増減額	1,611	固定資産	74,528	経常外収益	0	負債	78	経常外費用	0	流動負債	78	当期経常外増減額	0	固定負債	0	当期正味財産増減額	1,611	正味財産(純資産)	77,682	主な収入		国庫補助金	1,489千円	寄附金	1,421千円	眼球斡旋手数料	1,080千円	賛助会費	732千円	主な支出		職員人件費	1,408千円
○正味財産増減計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																
経常収益	5,581	資産	77,761																																															
経常費用	3,970	流動資産	3,233																																															
当期経常増減額	1,611	固定資産	74,528																																															
経常外収益	0	負債	78																																															
経常外費用	0	流動負債	78																																															
当期経常外増減額	0	固定負債	0																																															
当期正味財産増減額	1,611	正味財産(純資産)	77,682																																															
主な収入																																																		
国庫補助金	1,489千円																																																	
寄附金	1,421千円																																																	
眼球斡旋手数料	1,080千円																																																	
賛助会費	732千円																																																	
主な支出																																																		
職員人件費	1,408千円																																																	
5	問題点及び懸案事項	1 献眼者数を確保するため、普及・啓発活動の強化が課題である。 2 経営体質の強化のため、寄附金の増収対策等による経営体質の強化が課題である。																																																
6	対策及び処理状況	1 SNS等、多様な広報媒体を活用し、献眼に関する県民の理解を深めていく。 ※献眼登録者数 R4:30名 → R5:56名 累計:37,402名 眼球提供者数 R4:1名 → R5:4名 累計:260名 (累計は昭和56年8月25日から令和5年度末まで) 2 寄附金収入の増加を図るため、平成25年度から支援型自動販売機及び募金箱の設置を進めており、自主財源の確保に努めている。																																																

県出資法人の経営状況報告概要書

その他05

(課・室名) 循環社会推進課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益財団法人大分県環境管理協会 理事長 穴南 幸司																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	1,000千円 2.5% 40,000千円																								
3	事業内容	1 浄化槽法に基づく法定検査及び放流水の水質検査 2 環境衛生関係の各種講習会や調査研究																								
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書 (千円)</td> <td>○貸借対照表 (千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 458,248</td> <td>資産 605,541</td> </tr> <tr> <td>経常費用 485,022</td> <td>流動資産 213,436</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 ▲26,774</td> <td>固定資産 392,105</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 47,626</td> <td>負債 154,738</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 66,150</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 47,626</td> <td>固定負債 88,588</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 20,852</td> <td>正味財産(純資産) 450,803</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 0</td> <td>一般正味財産 430,803</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 450,803</td> <td>指定正味財産 20,000</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 20,852</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)	経常収益 458,248	資産 605,541	経常費用 485,022	流動資産 213,436	当期経常増減額 ▲26,774	固定資産 392,105	経常外収益 47,626	負債 154,738	経常外費用 0	流動負債 66,150	当期経常外増減額 47,626	固定負債 88,588	当期一般正味財産増減額 20,852	正味財産(純資産) 450,803	当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 430,803	正味財産期末残高 450,803	指定正味財産 20,000	当期正味財産増減額 20,852	
○正味財産増減計算書 (千円)	○貸借対照表 (千円)																									
経常収益 458,248	資産 605,541																									
経常費用 485,022	流動資産 213,436																									
当期経常増減額 ▲26,774	固定資産 392,105																									
経常外収益 47,626	負債 154,738																									
経常外費用 0	流動負債 66,150																									
当期経常外増減額 47,626	固定負債 88,588																									
当期一般正味財産増減額 20,852	正味財産(純資産) 450,803																									
当期指定正味財産増減額 0	一般正味財産 430,803																									
正味財産期末残高 450,803	指定正味財産 20,000																									
当期正味財産増減額 20,852																										
5	問題点及び懸案事項	<p>浄化槽法に基づく法定検査(11条検査)受検率は44.5%(R4:44.0%)であり、更なる向上が必要である。</p> <p>※11条検査:年1回の定期検査</p>																								
6	対策及び処理状況	<p>現在、効果的な法定検査の実施に向け、関係機関で構成する法定協議会等を活用し、浄化槽台帳の再整備を進めているところである。</p> <p>併せて、検査未受検者への指導の推進、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の促進に向けて、関係機関と連携した各種啓発・普及活動等も引き続き実施していく。</p>																								

県出資法人の経営状況報告概要書

その他06

(課・室名) 経営創造・金融課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	大分県信用保証協会 会長 稲垣 守		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,367,217千円 19.7% 17,088,845千円		
3	事業内容	<p>中小企業者が金融機関から借入等する場合の借入金等に対してその債務保証をすること</p> <p>(令和5年度保証承諾実績) 5,215件、57,076百万円</p> <p>(令和5年度末保証債務残高) 24,345件、211,386百万円</p>		
4	5年度決算状況	<p>○正味財産増減計算書(千円)</p> <p>経常収益 2,423,584 経常費用 1,684,414 当期経常増減額 739,171 経常外収益 3,035,073 経常外費用 2,970,809 当期経常外増減額 64,264 正味財産期首残額 23,058,106 正味財産期末残額 23,861,541 当期正味財産増減額 803,435</p>	<p>○貸借対照表(千円)</p> <p>資産 241,725,309 流動資産 28,530,108 固定資産 1,808,756 保証債務見返 211,386,445 負債 217,863,768 流動負債 4,359,551 固定負債 2,117,772 保証債務 211,386,445 正味財産 23,861,541</p>	
5	問題点及び懸案事項	引き続き健全な経営の継続と安定した経営基盤の確立を目指すとともに、中小企業者が必要とする資金の信用保証業務を適切に行い、中小企業金融の円滑化と中小企業の経営改善に寄与する必要がある。		
6	対策及び処理状況	第7次中期事業計画並びに各年次経営計画に掲げる業務運営方針及び基本目標を着実に実行することにより、健全経営の継続と中小企業金融の円滑化等への寄与に努めていく。		

県出資法人の経営状況報告概要書

その他07

(課・室名) D X 推進 課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社大分放送 代表取締役社長 猪俣 知三																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	32,000千円 12.3% 260,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくラジオ放送 2 放送法に基づくテレビ放送 3 その他放送に関連する事業																																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>4,756,046</td> <td>資産</td> <td>7,668,184</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,875,254</td> <td>流動資産</td> <td>2,973,371</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>2,880,792</td> <td>固定資産</td> <td>4,694,812</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>2,422,335</td> <td>負債</td> <td>3,710,022</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>48,021</td> <td>流動負債</td> <td>1,895,400</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>93,894</td> <td>固定負債</td> <td>1,814,622</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>17,818</td> <td>純資産</td> <td>3,958,162</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>124,097</td> <td>資本金</td> <td>260,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>136,301</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>71,219</td> <td>利益剰余金</td> <td>3,452,108</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>10,450</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>246,054</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>54,632</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	4,756,046	資産	7,668,184	売上原価	1,875,254	流動資産	2,973,371	売上総利益	2,880,792	固定資産	4,694,812	販売費及び一般管理費	2,422,335	負債	3,710,022	営業利益	48,021	流動負債	1,895,400	営業外収益	93,894	固定負債	1,814,622	営業外費用	17,818	純資産	3,958,162	経常利益	124,097	資本金	260,000	税引前当期純利益	136,301	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	71,219	利益剰余金	3,452,108	法人税等調整額	10,450	評価・換算差額等	246,054	当期純利益	54,632		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	4,756,046	資産	7,668,184																																																					
売上原価	1,875,254	流動資産	2,973,371																																																					
売上総利益	2,880,792	固定資産	4,694,812																																																					
販売費及び一般管理費	2,422,335	負債	3,710,022																																																					
営業利益	48,021	流動負債	1,895,400																																																					
営業外収益	93,894	固定負債	1,814,622																																																					
営業外費用	17,818	純資産	3,958,162																																																					
経常利益	124,097	資本金	260,000																																																					
税引前当期純利益	136,301	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	71,219	利益剰余金	3,452,108																																																					
法人税等調整額	10,450	評価・換算差額等	246,054																																																					
当期純利益	54,632																																																							
5	問題点及び懸案事項	黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も、地域に密着した番組制作の充実強化に取り組むとともに、積極的な営業活動に努める。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他08

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分朝日放送株式会社 代表取締役社長 橋本 仁																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	150,000千円 5.0% 3,000,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づくテレビ放送事業 2 催し物・イベント等の事業																																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>3,730,612</td> <td>資産</td> <td>8,668,205</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>1,707,788</td> <td>流動資産</td> <td>5,574,682</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>2,022,823</td> <td>固定資産</td> <td>3,093,523</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>1,812,794</td> <td>負債</td> <td>1,209,942</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>210,028</td> <td>流動負債</td> <td>773,403</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>19,178</td> <td>固定負債</td> <td>436,539</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>3,119</td> <td>純資産</td> <td>7,458,263</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>226,088</td> <td>資本金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>226,088</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>76,984</td> <td>利益剰余金</td> <td>4,440,268</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>2,256</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>17,994</td> </tr> <tr> <td><u>当期純利益</u></td> <td><u>146,847</u></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	3,730,612	資産	8,668,205	売上原価	1,707,788	流動資産	5,574,682	売上総利益	2,022,823	固定資産	3,093,523	販売費及び一般管理費	1,812,794	負債	1,209,942	営業利益	210,028	流動負債	773,403	営業外収益	19,178	固定負債	436,539	営業外費用	3,119	純資産	7,458,263	経常利益	226,088	資本金	3,000,000	税引前当期純利益	226,088	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	76,984	利益剰余金	4,440,268	法人税等調整額	2,256	評価・換算差額等	17,994	<u>当期純利益</u>	<u>146,847</u>		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	3,730,612	資産	8,668,205																																																					
売上原価	1,707,788	流動資産	5,574,682																																																					
売上総利益	2,022,823	固定資産	3,093,523																																																					
販売費及び一般管理費	1,812,794	負債	1,209,942																																																					
営業利益	210,028	流動負債	773,403																																																					
営業外収益	19,178	固定負債	436,539																																																					
営業外費用	3,119	純資産	7,458,263																																																					
経常利益	226,088	資本金	3,000,000																																																					
税引前当期純利益	226,088	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	76,984	利益剰余金	4,440,268																																																					
法人税等調整額	2,256	評価・換算差額等	17,994																																																					
<u>当期純利益</u>	<u>146,847</u>																																																							
5	問題点及び懸案事項	黒字決算を継続しており、今後も安定した経営が見込まれる。																																																						
6	対策及び処理状況	今後も積極的な営業活動と業務の効率化に努めるとともに、地域への情報発信に取り組む。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他09

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	株式会社エフエム大分 代表取締役社長 田中 竜																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	4,000千円 5.0% 80,000千円																																																						
3	事業内容	1 放送法に基づく超短波放送事業及びその他放送関連事業 2 音楽会、演奏会等各種行事の企画及び開催に関する文化事業																																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>303,288</td> <td>資産</td> <td>189,846</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>154,861</td> <td>流動資産</td> <td>104,971</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>148,427</td> <td>固定資産</td> <td>84,875</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>177,956</td> <td>負債</td> <td>120,323</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>▲29,529</td> <td>流動負債</td> <td>12,996</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>924</td> <td>固定負債</td> <td>107,327</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>577</td> <td>純資産</td> <td>69,523</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>▲29,181</td> <td>資本金</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>▲29,181</td> <td>資本剰余金</td> <td>13,070</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>587</td> <td>利益剰余金</td> <td>▲29,578</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>0</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>6,031</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>▲29,768</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	303,288	資産	189,846	売上原価	154,861	流動資産	104,971	売上総利益	148,427	固定資産	84,875	販売費及び一般管理費	177,956	負債	120,323	営業利益	▲29,529	流動負債	12,996	営業外収益	924	固定負債	107,327	営業外費用	577	純資産	69,523	経常利益	▲29,181	資本金	80,000	税引前当期純利益	▲29,181	資本剰余金	13,070	法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	▲29,578	法人税等調整額	0	評価・換算差額等	6,031	当期純利益	▲29,768		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	303,288	資産	189,846																																																					
売上原価	154,861	流動資産	104,971																																																					
売上総利益	148,427	固定資産	84,875																																																					
販売費及び一般管理費	177,956	負債	120,323																																																					
営業利益	▲29,529	流動負債	12,996																																																					
営業外収益	924	固定負債	107,327																																																					
営業外費用	577	純資産	69,523																																																					
経常利益	▲29,181	資本金	80,000																																																					
税引前当期純利益	▲29,181	資本剰余金	13,070																																																					
法人税、住民税及び事業税	587	利益剰余金	▲29,578																																																					
法人税等調整額	0	評価・換算差額等	6,031																																																					
当期純利益	▲29,768																																																							
5	問題点及び懸案事項	レギュラスポンサーの終了や、大口スポンサーの広告出稿中止などの影響を受けた結果、2期ぶりに当期純利益がマイナスになっていることから、黒字化に向けた取組が課題である。																																																						
6	対策及び処理状況	新規スポンサー獲得や休眠スポンサーへのアプローチなどによる売上げ増加と経費の抑制に努め、経営基盤の強化を図る。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他10

(課・室名) D X 推進課

項	目	概	要	等																																																				
1	法人名及び代表者名	大分県デジタルネットワークセンター株式会社 代表取締役社長 荒木 節夫																																																						
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 3.6% 56,000千円																																																						
3	事業内容	1 デジタル放送設備の共同利用 2 地上波放送の受信点の共同利用 3 自主制作番組の相互利用																																																						
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">○損益計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>33,473</td> <td>資産</td> <td>79,325</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td>24,973</td> <td>流動資産</td> <td>79,325</td> </tr> <tr> <td>売上総利益</td> <td>8,500</td> <td>固定資産</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>販売費及び一般管理費</td> <td>7,835</td> <td>負債</td> <td>5,426</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>665</td> <td>流動負債</td> <td>5,426</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>5,868</td> <td>固定負債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>5,900</td> <td>純資産</td> <td>73,898</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>633</td> <td>資本金</td> <td>56,000</td> </tr> <tr> <td>税引前当期純利益</td> <td>633</td> <td>資本剰余金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>法人税、住民税及び事業税</td> <td>320</td> <td>利益剰余金</td> <td>17,898</td> </tr> <tr> <td>法人税等調整額</td> <td>0</td> <td>評価・換算差額等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>314</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)		売上高	33,473	資産	79,325	売上原価	24,973	流動資産	79,325	売上総利益	8,500	固定資産	0	販売費及び一般管理費	7,835	負債	5,426	営業利益	665	流動負債	5,426	営業外収益	5,868	固定負債	0	営業外費用	5,900	純資産	73,898	経常利益	633	資本金	56,000	税引前当期純利益	633	資本剰余金	0	法人税、住民税及び事業税	320	利益剰余金	17,898	法人税等調整額	0	評価・換算差額等	0	当期純利益	314		
○損益計算書(千円)		○貸借対照表(千円)																																																						
売上高	33,473	資産	79,325																																																					
売上原価	24,973	流動資産	79,325																																																					
売上総利益	8,500	固定資産	0																																																					
販売費及び一般管理費	7,835	負債	5,426																																																					
営業利益	665	流動負債	5,426																																																					
営業外収益	5,868	固定負債	0																																																					
営業外費用	5,900	純資産	73,898																																																					
経常利益	633	資本金	56,000																																																					
税引前当期純利益	633	資本剰余金	0																																																					
法人税、住民税及び事業税	320	利益剰余金	17,898																																																					
法人税等調整額	0	評価・換算差額等	0																																																					
当期純利益	314																																																							
5	問題点及び懸案事項	条件不利地域における情報格差の是正、及び地域情報化の推進に資するため、今後も安定した経営が必要である。																																																						
6	対策及び処理状況	引き続き地域密着型サービスの提供を拡大するなど安定した事業運営に努める。																																																						

県出資法人の経営状況報告概要書

その他11

(課・室名) 団体指導・金融課

項	目	概	要	等																																																
1	法人名及び代表者名	大分県農業信用基金協会 会長理事 壁村 雄吉																																																		
2	県出資金	1,030,430千円																																																		
	出資比率	24.0%																																																		
	資本金等の総額	4,292,120千円																																																		
3	事業内容	1 農業者等に対する債務保証業務 2 求償権回収業務																																																		
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○収支計算書(千円)</td> <td colspan="2">○貸借対照表(千円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>277,815</td> <td>資産</td> <td>93,850,302</td> </tr> <tr> <td> 事業収入</td> <td>208,280</td> <td> 流動資産</td> <td>2,694,405</td> </tr> <tr> <td> 補助金等収入</td> <td>20,846</td> <td> 固定資産</td> <td>5,970,160</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>48,689</td> <td> 保証債務見返</td> <td>85,185,737</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>248,288</td> <td>負債</td> <td>87,840,217</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>9,351</td> <td> 流動負債</td> <td>779,075</td> </tr> <tr> <td> 管理費</td> <td>177,491</td> <td> 固定負債</td> <td>1,875,405</td> </tr> <tr> <td> その他の支出</td> <td>61,446</td> <td> 保証債務</td> <td>85,185,737</td> </tr> <tr> <td>当期収支差額</td> <td>29,527</td> <td>正味財産(純資産)</td> <td>6,010,084</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> うち基本(資本)金</td> <td>5,980,558</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> うち当期正味財産増減額</td> <td>29,527</td> </tr> </table>			○収支計算書(千円)	○貸借対照表(千円)			収入	277,815	資産	93,850,302	事業収入	208,280	流動資産	2,694,405	補助金等収入	20,846	固定資産	5,970,160	その他の収入	48,689	保証債務見返	85,185,737	支出	248,288	負債	87,840,217	事業費	9,351	流動負債	779,075	管理費	177,491	固定負債	1,875,405	その他の支出	61,446	保証債務	85,185,737	当期収支差額	29,527	正味財産(純資産)	6,010,084			うち基本(資本)金	5,980,558			うち当期正味財産増減額	29,527
○収支計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																																																			
収入	277,815	資産	93,850,302																																																	
事業収入	208,280	流動資産	2,694,405																																																	
補助金等収入	20,846	固定資産	5,970,160																																																	
その他の収入	48,689	保証債務見返	85,185,737																																																	
支出	248,288	負債	87,840,217																																																	
事業費	9,351	流動負債	779,075																																																	
管理費	177,491	固定負債	1,875,405																																																	
その他の支出	61,446	保証債務	85,185,737																																																	
当期収支差額	29,527	正味財産(純資産)	6,010,084																																																	
		うち基本(資本)金	5,980,558																																																	
		うち当期正味財産増減額	29,527																																																	
5	問題点及び懸案事項	<p>安定した経営を継続するため、期中管理の徹底を図り、代位弁済の減少に努めることが重要である。</p> <p style="text-align: right;">(金額単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代弁件数</td> <td>18</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>代弁金額</td> <td>54,913</td> <td>11,135</td> <td>6,949</td> <td>58,121</td> <td>15,421</td> </tr> </tbody> </table>			年度	R1	R2	R3	R4	R5	代弁件数	18	9	5	16	15	代弁金額	54,913	11,135	6,949	58,121	15,421																														
年度	R1	R2	R3	R4	R5																																															
代弁件数	18	9	5	16	15																																															
代弁金額	54,913	11,135	6,949	58,121	15,421																																															
6	対策及び処理状況	<p>融資機関等に対する研修会を通じて、債務保証制度の周知を図るとともに、保証案件の事故を未然に防ぐため、融資機関・行政等と連携した期中管理の強化を図っている。</p>																																																		

県出資法人の経営状況報告概要書

その他12

(課・室名) 園芸振興課

項	目	概	要	等																						
1	法人名及び代表者名	公益社団法人大分県園芸振興基金協会 会長理事 佐土原 斉																								
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	25,000千円 24.9% 100,170千円																								
3	事業内容	<p>野菜及び果実の安定的な生産出荷の推進、生産農家の経営安定の支援、青果物の需給拡大を図るため、以下の事業を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 野菜価格安定事業 価格が下落した場合の価格差補給交付金の交付を通じて農家の経営安定と再生産並びに青果物の安定供給を図る。 果樹経営支援対策事業 優良品目・品種への転換、未収益期間に加え、園地整備等、労働生産性の向上を図り、果樹産地の生産体制強化を図る。 消費拡大対策事業 るるパーク等で野菜・果実の消費拡大PR活動を実施。 																								
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>○正味財産増減計算書(千円)</td> <td>○貸借対照表(千円)</td> </tr> <tr> <td>経常収益 295,986</td> <td>資産 829,116</td> </tr> <tr> <td>経常費用 292,433</td> <td>流動資産 76,254</td> </tr> <tr> <td>当期経常増減額 3,553</td> <td>固定資産 752,862</td> </tr> <tr> <td>経常外収益 0</td> <td>負債 113,108</td> </tr> <tr> <td>経常外費用 0</td> <td>流動負債 12,339</td> </tr> <tr> <td>当期経常外増減額 0</td> <td>固定負債 100,769</td> </tr> <tr> <td>当期一般正味財産増減額 3,553</td> <td>正味財産(純資産) 716,008</td> </tr> <tr> <td>当期指定正味財産増減額 ▲32,859</td> <td>一般正味財産 260,237</td> </tr> <tr> <td>正味財産期末残高 716,008</td> <td>指定正味財産 455,771</td> </tr> <tr> <td>当期正味財産増減額 ▲29,306</td> <td></td> </tr> </table>			○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)	経常収益 295,986	資産 829,116	経常費用 292,433	流動資産 76,254	当期経常増減額 3,553	固定資産 752,862	経常外収益 0	負債 113,108	経常外費用 0	流動負債 12,339	当期経常外増減額 0	固定負債 100,769	当期一般正味財産増減額 3,553	正味財産(純資産) 716,008	当期指定正味財産増減額 ▲32,859	一般正味財産 260,237	正味財産期末残高 716,008	指定正味財産 455,771	当期正味財産増減額 ▲29,306	
○正味財産増減計算書(千円)	○貸借対照表(千円)																									
経常収益 295,986	資産 829,116																									
経常費用 292,433	流動資産 76,254																									
当期経常増減額 3,553	固定資産 752,862																									
経常外収益 0	負債 113,108																									
経常外費用 0	流動負債 12,339																									
当期経常外増減額 0	固定負債 100,769																									
当期一般正味財産増減額 3,553	正味財産(純資産) 716,008																									
当期指定正味財産増減額 ▲32,859	一般正味財産 260,237																									
正味財産期末残高 716,008	指定正味財産 455,771																									
当期正味財産増減額 ▲29,306																										
5	問題点及び懸案事項	令和8年度から野菜価格安定事業と収入保険に同時加入ができなくなるため、今後一部の野菜生産者が収入保険へ移行することが想定される。																								
6	対策及び処理状況	野菜生産者に対し両制度の違いについて正確に情報提供することで、野菜価格安定事業の加入者の確保を図り、安定的な事業の運営に努める。																								

県出資法人の経営状況報告概要書

その他13

(課・室名) 畜産振興課

項	目	概	要	等																																													
1	法人名及び代表者名	株式会社大分県畜産公社 代表取締役社長 壁村 雄吉																																															
2	県出資金	500,150千円																																															
	出資比率	19.4%																																															
	資本金等の総額	2,574,540千円																																															
3	事業内容	<p>食肉流通の近代化、合理化を図ることで、畜産農家の所得向上と消費者への食肉の安定供給に寄与することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家畜のと畜解体処理 2 食肉の製造及び販売 3 県産畜産物アンテナショップの運営 4 肥育牛の生産及び預託事業 5 その他附帯する事業 																																															
4	5年度決算状況	<p>○損益計算書（千円）</p> <table border="0"> <tr><td>売上高</td><td>11,659,387</td></tr> <tr><td>売上原価</td><td>11,039,700</td></tr> <tr><td>売上総利益</td><td>619,687</td></tr> <tr><td>販売費及び一般管理費</td><td>611,245</td></tr> <tr><td>営業利益</td><td>8,442</td></tr> <tr><td>営業外収益</td><td>14,330</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>3,670</td></tr> <tr><td>経常利益</td><td>19,102</td></tr> <tr><td>特別利益</td><td>18,234</td></tr> <tr><td>特別損失</td><td>13,335</td></tr> <tr><td>税引前当期純利益</td><td>24,001</td></tr> <tr><td>法人税・住民税及び事業税</td><td>4,319</td></tr> <tr><td>当期純利益</td><td>19,682</td></tr> </table>	売上高	11,659,387	売上原価	11,039,700	売上総利益	619,687	販売費及び一般管理費	611,245	営業利益	8,442	営業外収益	14,330	営業外費用	3,670	経常利益	19,102	特別利益	18,234	特別損失	13,335	税引前当期純利益	24,001	法人税・住民税及び事業税	4,319	当期純利益	19,682	<p>○貸借対照表（千円）</p> <table border="0"> <tr><td>資産</td><td>5,552,873</td></tr> <tr><td>流動資産</td><td>3,441,657</td></tr> <tr><td>固定資産</td><td>2,141,215</td></tr> <tr><td>負債</td><td>3,274,168</td></tr> <tr><td>流動負債</td><td>2,405,112</td></tr> <tr><td>固定負債</td><td>869,057</td></tr> <tr><td>純資産</td><td>2,278,704</td></tr> <tr><td>資本金</td><td>2,574,540</td></tr> <tr><td>資本剰余金</td><td>0</td></tr> <tr><td>利益剰余金</td><td>▲295,836</td></tr> </table>	資産	5,552,873	流動資産	3,441,657	固定資産	2,141,215	負債	3,274,168	流動負債	2,405,112	固定負債	869,057	純資産	2,278,704	資本金	2,574,540	資本剰余金	0	利益剰余金	▲295,836
売上高	11,659,387																																																
売上原価	11,039,700																																																
売上総利益	619,687																																																
販売費及び一般管理費	611,245																																																
営業利益	8,442																																																
営業外収益	14,330																																																
営業外費用	3,670																																																
経常利益	19,102																																																
特別利益	18,234																																																
特別損失	13,335																																																
税引前当期純利益	24,001																																																
法人税・住民税及び事業税	4,319																																																
当期純利益	19,682																																																
資産	5,552,873																																																
流動資産	3,441,657																																																
固定資産	2,141,215																																																
負債	3,274,168																																																
流動負債	2,405,112																																																
固定負債	869,057																																																
純資産	2,278,704																																																
資本金	2,574,540																																																
資本剰余金	0																																																
利益剰余金	▲295,836																																																
5	問題点及び懸案事項	<p>繰越欠損金（令和6年6月25日現在：295,836千円）の令和9年度までの解消を目指し、令和2年度に中長期経営改善計画を策定しているところである。</p> <p>牛、豚のと畜頭数は計画目標を上回るか近接するほどに改善しているが、電気・ガス・水道代の高騰により製造原価が増加したことや、飼料価格の高騰、物価高による牛肉需要の減退により生産部門（肥育）が赤字となり利益を圧迫しており、現状のままでは令和9年度までの繰越欠損金の解消が難しい状況にある。</p>																																															
6	対策及び処理状況	<p>昨今の市場動向や生産コストの上昇に合せた中長期経営改善計画となるよう見直しを指示し、計画内容について公社と県で協議した上で、早期策定、着実な実施を担当課として指導していく。</p>																																															

県出資法人の経営状況報告概要書

その他14

(課・室名) 警察本部 生活安全企画課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公益財団法人 大分県防犯協会 理事長 荒金 一義		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	2,000千円 7.0% 28,418千円		
3	事業内容	1 防犯思想の普及及び高揚並びに犯罪の防止 2 少年非行の防止及び青少年の健全育成 3 防犯団体が行う防犯活動に対する協力援助 4 防犯活動の功労者及び団体に対する表彰 5 風俗環境の浄化活動 6 自転車等の防犯対策等		
4	5年度決算状況	○正味財産増減計算書(千円) ○貸借対照表(千円) 経常収益 33,533 資産 35,457 経常費用 35,831 流動資産 5,978 当期経常増減額 ▲2,298 固定資産 29,480 経常外収益 0 負債 4,334 経常外費用 0 流動負債 3,272 当期経常外増減額 0 固定負債 1,062 当期一般正味財産増減額 ▲2,393 正味財産(純資産) 31,123 当期指定正味財産増減額 ▲150 一般正味財産 31,123 正味財産期末残高 31,123 指定正味財産 0 当期正味財産増減額 ▲2,543		
5	問題点及び懸案事項	防犯登録手数料による収入が減少したことを主たる要因として、正味財産期末残高が昨年度より約250万円減少した。 賛助会員数及び賛助会費収入は、昨年をわずかに下回った。 公益事業を効果的かつ長期的に推進するためには、賛助会員の拡大等、団体の活動を広く県民に理解してもらい、協力を得る必要がある。		
6	対策及び処理状況	物価高騰による消耗品費の増額や郵便料金の値上げ等を受け、本年度から防犯登録手数料を値上げした。 賛助会員を増加させるため、積極的な部外活動を推進するとともに、ホームページや広報誌等を活用するなど、あらゆる機会を通じて県民及び各種団体への協力依頼等を行う。		

Ⅱ 地方独立行政法人（公立大学法人）の 経営状況報告概要書

地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人1

(課・室名) 学事・私学振興課

項	目	概	要	等
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学 理事長 小手川 大助		
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,823,539千円(土地・建物) 100%		
3	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学を設置し、これを運営すること。 2 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。 3 芸術・文化の教育研究の成果を広く普及し、及びその活用を促進すること。 4 学生以外の者に対し、芸術・文化に関する学習の機会を提供すること。 5 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。 6 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。 就職率 R3:99.2% → R4:98.7% → R5:98.1% (県内就職率 R3:65.4% → R4:68.1% → R5:57.6%) 進学率 R3:100% → R4:100% → R5:99.0% 志願者数(学科) R4:714人 → R5:731人 → R6:626人 志願倍率(学科) R4:2.1倍 → R5:2.2倍 → R6:1.8倍		
4	5年度決算状況	経常収益 1,011,204千円 経常費用 984,910千円 経常利益 26,294千円 臨時損益 461,431千円 目的積立金取崩額 0千円 当期総利益 487,725千円	(参考)経常収益内訳 運営費交付金 539,554千円 施設整備補助金 5,445千円 授業料 325,116千円 入学金 95,119千円 検定料 12,669千円 受託事業等 306千円 その他(寄附金等) 32,995千円	
5	問題点及び懸案事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 第3期中期計画の目標である就職率90%を達成しているものの、県内への就職率は昨年度から10.5ポイント減少している。 2 志願倍率は公立短期大学の全国平均を上回っているものの、志願者数は昨年度から105名減少している。 		
6	対策及び処理状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 進路ガイダンス、学内説明会の開催、1年次のインターンシップ参加の促進等のキャリア教育の充実と併せて丁寧な進路指導に取り組むとともに、早期離職者や本県へのUIJターン就職希望者など既卒者に対する支援も行う。 2 令和6年度から総合型選抜を導入することに加え、オープンキャンパスや個別相談、高校訪問、SNS等の活用をさらに強化し、きめ細かな学生支援やリニューアルしたキャンパスなど、大学の魅力を積極的に情報発信する。 		

公立大学法人大分県立芸術文化短期大学の令和5事業年度の業務実績及び中期目標期間の業務実績に関する評価結果について

1 根拠法令

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（令和五年法律第五十八号）附則第三条第三項の規定によりなお従前の例によることとされる同法第五条の規定による改正前の地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第七十八条の二第六項の規定

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告
（令和6年7月11日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催）

2 令和5事業年度の業務実績に関する全体評価

(1) 評価結果 「全体として年度計画を順調に実施している。」

(2) 主な評価理由

- ・大学の教育研究等の質の向上に関する目標」に関して、全学横断型の「アートマネジメントプログラム」が開講6年目を迎え、全学科から142名が受講し、令和5年度に修了した33名が認定証を授与されるなど、新たな学修の展開を引き続き推進するとともに、就職・進学それぞれに対応した進路支援プログラムと進路支援室と各学科の連携によるきめ細かな面接・相談等を行った結果、就職率は98.1%、進学率は99.0%と、高い水準を維持していること。
- ・県内各地域、各種団体、企業との協働による制作・発表活動、地域支援活動などを実施するとともに、NFT技術を活用したデジタルアートによる地域活性化の実証実験、日本製鉄株式会社九州製鉄所大分地区と連携した広告企画・ポスター作成など、地域や企業、行政との一層の連携を図るとともに、実践を通して専門性を生かす体験的・主体的学修活動を推進していること。
- ・令和4年度に発生したハラスメント事案への対応については、学生対象のハラスメント実態調査を実施し、調査結果を教授会で共有することで、ハラスメント防止の意識向上を図るとともに、理事長面談において、ハラスメントの防止や服務規律の保持の徹底をしていること。また、ハラスメント対策を強化するため、学生の個別指導における注意点に関するガイドライン、ハラスメント等人権侵害防止規程及び同運用指針を改正したこと。

3 中期目標期間（平成30～令和5事業年度）の業務実績に関する全体評価

(1) 評価結果 「全体として中期計画の達成状況が良好である。」

(2) 主な評価理由

- ・平成30年度から新たにスタートした「アートマネジメントプログラム」については、全学科の学生が受講し、学科の枠を超えた新たな学びの場となっていること。また、進路希望調査を複数回行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響で変化した就職活動に対応したオンライン面接への対応など進路指導を充実させることにより、就職内定率、進学合格率とも中期目標の90%を達成したこと。
- ・全教職員への経費節減の周知や夏期大学閉鎖による光熱水費の節減や、省電力機器の導入、管理的経費の分析と抑制策の検討などを行っていること。大学独自の研究費特別枠を設定し、外部研究資金獲得に向けた準備研究を支援するとともに、科研費を申請する

教員を事務局職員が支援し、外部競争資金や受託事業の獲得に取り組んでいること。

- ・人権侵害や各種ハラスメントの防止に取り組んでいたものの、教員から学生に対するハラスメント事案が確認されたこと。しかしながら、ハラスメント事案発生後は、真摯に再発防止に努め、令和5事業年度は「A（計画どおり）」と評価したこと。

参考 大項目評価結果（令和5事業年度、中期目標期間）

大項目	令和5事業年度	中期目標期間
I 教育研究等の質の向上	S	S
II 業務運営の改善及び効率化	A	A
III 財務内容の改善	A	A
IV 自己点検・評価及び情報提供	A	A
V その他業務運営	A	B

事業年度 S：特筆すべき状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり

C：やや遅れている D：重大な改善事項あり

中期目標 S：非常に優れている A：良好である B：おおむね良好である

C：不十分である D：重大な改善事項あり

地方独立行政法人の経営状況報告概要書

公立大学法人2

(課名) 学事・私学振興課

項	目	概	要	等																												
1	法人名及び代表者名	公立大学法人大分県立看護科学大学 理事長 麻原 きよみ																														
2	県出資金 出資比率 資本金等の総額	3,264,363千円(土地・建物) 100%																														
3	事業内容	<p>1 大学を設置し、これを運営すること。</p> <p>2 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。</p> <p>3 地域社会及び国際社会において、大学における教育研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。</p> <p>4 学生以外の者に対し、看護に関する学習の機会を提供すること。</p> <p>5 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。</p> <p>6 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職率 (学部) R3 :97.1%→ R4 :98.4%→ R5 :98.3% (県内就職率) R3 :54.5%→ R4 :60.0%→ R5 :51.7% ・進学率 (学部) R3 : 100%→ R4 : 100%→ R5 :93.3% ・志願者数 (学部) R4 : 451人→ R5 : 313人→ R6 :248人 ・志願倍率 (学部) R4 : 5.6倍→ R5 : 3.9倍→ R6 :3.1倍 ・国試合格率(看護師) R3 : 100%→ R4 :97.3%→ R5 :100% 																														
4	5年度決算状況	<table border="0"> <tr> <td>経常収益</td> <td>951,895千円</td> <td>→</td> <td>参考;内訳</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>984,588千円</td> <td></td> <td>運営費交付金 656,116千円</td> </tr> <tr> <td>経常損益</td> <td>△32,693千円</td> <td></td> <td>授業料 214,990千円</td> </tr> <tr> <td>臨時損益</td> <td>417,220千円</td> <td></td> <td>入学金 28,056千円</td> </tr> <tr> <td>前中期目標期間</td> <td></td> <td></td> <td>検定料 6,072千円</td> </tr> <tr> <td>繰越積立金取崩額</td> <td>33,148千円</td> <td></td> <td>受託研究等 838千円</td> </tr> <tr> <td>当期総利益</td> <td>417,675千円</td> <td></td> <td>その他(施設費等) 45,823千円</td> </tr> </table>			経常収益	951,895千円	→	参考;内訳	経常費用	984,588千円		運営費交付金 656,116千円	経常損益	△32,693千円		授業料 214,990千円	臨時損益	417,220千円		入学金 28,056千円	前中期目標期間			検定料 6,072千円	繰越積立金取崩額	33,148千円		受託研究等 838千円	当期総利益	417,675千円		その他(施設費等) 45,823千円
経常収益	951,895千円	→	参考;内訳																													
経常費用	984,588千円		運営費交付金 656,116千円																													
経常損益	△32,693千円		授業料 214,990千円																													
臨時損益	417,220千円		入学金 28,056千円																													
前中期目標期間			検定料 6,072千円																													
繰越積立金取崩額	33,148千円		受託研究等 838千円																													
当期総利益	417,675千円		その他(施設費等) 45,823千円																													
5	問題点及び懸案事項	<p>1 志願倍率は3倍以上あるものの、志願者数は令和4年度から減少傾向にあり、昨年度から65名減少している。</p> <p>2 教育・研究用の機器類や施設が老朽化しており、それらの修理更新及び施設保全の経費の増加が見込まれる。</p>																														
6	対策及び処理状況	<p>1 志願者数増のため試験科目の変更を行い、対象を広げて入試説明会を開催する等、高大接続を推進することに加え、フォーラムや公開講座などの活動を学内外で行うことにより看護・看護学の魅力や将来性を社会に周知する。</p> <p>2 機器類は、積立金(令和5年度末残高209,564千円)を活用して、優先順位を定め効率的に修理、更新を進めている。 施設保全については、劣化等による機能低下等を生じさせないように、耐用年数等を考慮し計画的に改修を行う予防保全型維持管理を取り入れた大分県公共施設等総合管理指針に基づき対応している。</p>																														

公立大学法人大分県立看護科学大学の令和5事業年度の業務実績及び 中期目標期間の業務実績に関する評価結果について

1 根拠法令

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（令和五年法律第五十八号）附則第三条第三項の規定によりなお従前の例によることとされる同法第五条の規定による改正前の地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第七十八条の二第六項

設立団体の長は、地方独立行政法人評価委員会の評価結果を議会に報告
（令和6年7月11日 大分県地方独立行政法人評価委員会 開催）

2 令和5事業年度の業務実績に関する全体評価

(1) 評価結果 「全体として年度計画を上回る進捗で実施している。」

(2) 主な評価理由

- ・看護教育のDX/ICT教材等の充実を図ることで学修面の効果を得ていること。また、看護試験は、早期ガイダンスや、主体的に学習できるための雰囲気づくり、模擬試験結果の分析とフィードバック、集中セミナーなどを実施し、昨年度の不合格者を含めて合格率100%を達成したこと。
- ・海外危機管理マニュアルを策定し、個人単位海外研修プログラムを見直すなど、短期海外研修を希望する学生への支援体制を整備したこと。
- ・理事長がリーダーシップを発揮し、NP研究室の新設や、成人・老年看護学研究室の再編成、大学院健康科学専攻の廃止、NP教育の臨床推論能力強化システム導入や知的アドバイザーの雇用などDX、イノベーションの推進等を図っていること。
- ・公募情報を積極的に収集のうえ、レビュアー制度による個別支援の強化を図り、大学全体で補助金や科研費等に積極的応募することで、6,000万円を超える外部資金を獲得していること。

3 中期目標期間（平成30～令和5事業年度）の業務実績に関する全体評価

(1) 評価結果 「全体として中期計画の達成状況が極めて良好である。」

(2) 主な評価理由

- ・学部教育に関するカリキュラムおよび養護教諭養成課程の教育について評価、改善を中期目標期間中に行ってきたこと、令和5年度までに4年間の看護師基礎教育のモデルの評価・改善および養護教諭（一種免許）養成課程の評価・改善が達成できたこと。
- ・COVID-19感染予防対策の必要性もあり、学習環境のICT化が予定よりも早いペースで進み、学生の情報処理や看護技術の力は高まっていること。また、学生が主体的に学べる教育環境の整備が進んでおり、学生の看護師国家試験合格率は高い水準を維持していること。更には、学部生の県内就職率は中期計画平均50%を超えていること。
- ・学長を兼ねる理事長が、引き続き強いリーダーシップを発揮し、教員や学外理事等の意見を取り入れ、学内の了解を得ながら改革を推進していること。
- ・授業料等の滞納はなく、納付が遅延している学生がいる場合には助言や指導を行い、分割等計画的な授業料納付に導く等の取組を継続していること。
- ・科研費申請の学内研修会の実施、外部資金公募情報の周知、レビュアーによる指導等に

より、4千万円～6千万円以上の外部資金を獲得できており、継続して外部資金獲得促進に取り組んでいること。

参考 大項目評価結果（令和5事業年度、中期目標期間）

大項目	令和5事業年度	中期目標期間
I 教育研究等の質の向上	S	S
II 業務運営の改善及び効率化	S	S
III 財務内容の改善	S	S
IV 自己点検・評価及び情報提供	A	A
V その他業務運営	A	A

事業年度 S：特筆すべき状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり

C：やや遅れている D：重大な改善事項あり

中期目標 S：非常に優れている A：良好である B：おおむね良好である

C：不十分である D：重大な改善事項あり

Ⅲ 県有地の信託に係る事務の 処理状況報告概要書

県有地の信託に係る事務の処理状況報告概要書

(課・室名) 商工観光労働企画課

項	目	概	要	等												
1	法人名及び代表者名	県有地の信託														
2	事業内容	<p>1 土地 7,383㎡</p> <p>2 建物 大分ソフィアプラザビル（昭和63年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上4階建 大分第2ソフィアプラザビル（平成5年4月1日開業） 鉄筋コンクリート造 地上7階建</p> <p>3 土地信託契約内容 （変更前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託者 三井住友信託銀行株式会社 ・信託期間 昭和62年2月4日～令和6年3月31日（37年間） ・信託報酬 （賃料+駐車場料）×2.5% ・貸室条件 情報通信関連企業、知事が認める企業 <p>（変更後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託者 三菱UFJ信託銀行株式会社 ・信託期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間） ・信託報酬 15,400,000円 ・貸室条件 情報通信関連企業、知事が認める企業 <p>※令和6年4月から受託者を変更</p>														
3	5年度決算状況	<p>1 令和5年度決算</p> <table border="0"> <tr> <td>収 入</td> <td>391,835千円</td> <td rowspan="3">利益処分計算書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>150,506千円</td> <td>借入金敷金等返済金</td> <td>128,311</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>241,329千円</td> <td>資本的支出</td> <td>30,228</td> </tr> </table> <p>2 借入状況（受託者による資金の借り入れ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度返済金額 297,262千円 ・令和5年度未借入残高 0円 <p>共益費会計余剰金 17,533 余剰金積立金 65,257</p>			収 入	391,835千円	利益処分計算書		支 出	150,506千円	借入金敷金等返済金	128,311	当期純利益	241,329千円	資本的支出	30,228
収 入	391,835千円	利益処分計算書														
支 出	150,506千円		借入金敷金等返済金	128,311												
当期純利益	241,329千円		資本的支出	30,228												
4	問題点及び懸案事項	今後数年において、大規模な設備の更新や改修が必要														
5	対策及び処理状況	<p>更新や改修が必要な設備等については、受託者と協議しつつ、随時対応していく。</p> <p>【参考：入居率の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85.5%</td> <td>96.7%</td> <td>95.4%</td> <td>95.9%</td> <td>90.3%</td> <td>92.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和6年度見込み</p>			R元	R2	R3	R4	R5	R6※	85.5%	96.7%	95.4%	95.9%	90.3%	92.7%
R元	R2	R3	R4	R5	R6※											
85.5%	96.7%	95.4%	95.9%	90.3%	92.7%											